

茶のハーモニー の厳選ツアーコース



TEA FOR HARMONY

RECOMMENDED TEA-THEMED TOURS





はじめに

Introduction

中国はお茶の故郷です。何千年の間、お茶は中国文化において特別な位置を占めてきました。2022年11月29日、「中国伝統の製茶技法と関連の風習」がユネスコの無形文化遺産代表リストに登録されました。

世界中の観光客の皆様にご覧いただき、中国茶とその豊かな文化を深く知っていただくために、心を込めておすすめツアーコースをご用意いたしました。

お茶の里の饗宴へ、ぜひお越しください！



「茶のハーモニー」厳選ツアーコース

"Tea for Harmony" Recommended Tea-themed Tours (In no particular order)

01. 武夷山国家公園「お茶の里癒しの旅」01

Wuyishan National Park "Tea Resort Healing" Boutique Tour Route

武夷山市文化体育旅游局

Wuyishan Municipal Bureau of Cultural Sports and Tourism

02. 安徽黄山「茶韻の天下」黄山毛峰コース11

Anhui's Huangshan and the Huangshan Maofeng Tea Route

黄山中国国際旅行社有限公司

Huangshan China International Travel Service

03. 壮美たる広西・お茶が織り出すハーモニーの世界17

Splendors of Guangxi · Tea for Harmony

桂林中国国際旅行社有限責任公司

China International Travel Service Guilin Co.,Ltd

04. ヒスイの影に流れる香り～貴州におけるお茶の習俗と無形文化遺産の美23

Emerald Shadow and Flowing Fragrance

The Beauty of Tea Customs and ICH Wellness in Guizhou, China

貴州省中国青年旅行社有限公司

China Youth Travel Service.Guizhou Co.,Ltd

05. 茶のハーモニー・湖南黒茶堪能の旅35

Tea for Harmony - A Journey of Tasting Dark Tea in Hunan

湖南省中国旅行社有限公司

China Travel Service Hunan Co.,Ltd

06. 恵山古鎮茶韻の旅41

Huishan Ancient Town Tea Tour

無錫市恵山古鎮文化旅遊發展有限公司

Wuxi Ancient Town Of Huishan Cultural Tourism Development Co.Ltd

07. 茶館巡りと胡同散策、本場の生活を満喫する北京の旅47

Take a day to soak in the tea house atmosphere, wander through the hutongs, and experience what it's like to be a true Beijinger.

北京千乘假期国际旅行社有限公司

Beijing Glory International Travel Service Co., Ltd

08. 信陽の茶路・毛尖の旅路53

Xinyang Maojian, from the ancient tea route to modern tea tour

北京大品管理諮詢有限公司

Beijing Dapin Management Consulting Co., Ltd

09. 嶺南の茶味～お茶と一体不離の地を探る旅61

Tea of Southern China - Exploring a Place Inseparable from Tea

広州広之旅国际旅行社股份有限公司

GZL International Travel Service Ltd

10. シルクロード上の「黒金」～陝西官茶・涇陽茯茶65

The Black Gold on the Silk Road Jingyang "Fu Tea"

西安中国国際旅行社集團有限責任公司

Xi'an China International Travel Service Group Co., Ltd

11. 人間の天堂～お茶でめぐり会う杭州71

"Heaven on Earth" Tea Party in Hangzhou

杭州梵客国际旅行社有限公司

Hangzhou Fanke international travel Ltd

12. 茶のハーモニー・滇蔵茶馬古道の旅77

Harmony between Tea and Heaven

Following the Footprints of Ancient Tea and Horse Caravan

雲南之路国际旅行社有限公司

Yunnan Road Travel Company Limited

13. 茶韻・四川～四川の一杯がもたらす心地よいひと時83

Tea and Sichuan - A cup of Sichuan tea · Enjoy a leisurely life

成都簡悦国际旅行社有限公司

Chengdu Delight Tour&Events Limited company

14. 海上シルクロードの茶源・福建安溪鉄観音を探る旅89

The Origin of Tea on the Maritime Silk Road

Exploring Tieguanyin Tea in Anxi County, Fujian Province

厦門建發国旅集團

C&D Global Tourism Group

武夷山国家公園「お茶の里癒しの旅」

Wuyishan National Park "Tea Resort Healing" Boutique Tour Route

背景 Background

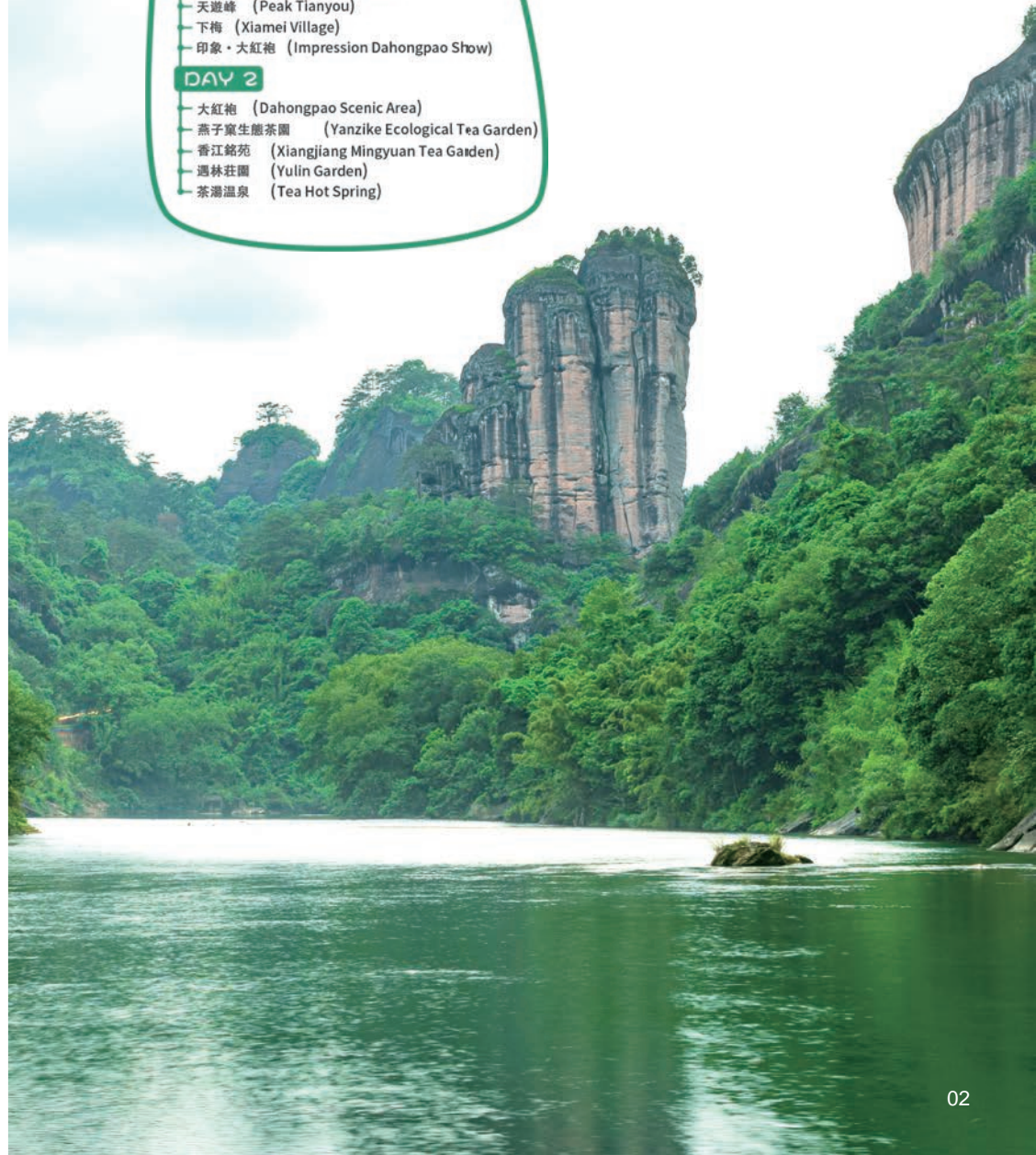
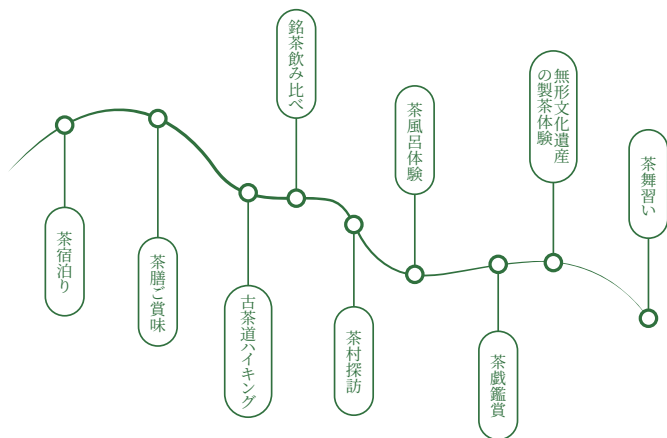
武夷山は烏龍茶と紅茶の発祥地として有名であり、名高い中国茶文化芸術の里でもあります。この生態系は、世界中の同じ緯度の地域の中で最も優れた状態で保存されています。2022年11月29日、武夷岩茶(大紅袍)の製茶技法がユネスコの無形文化遺産代表リストに登録されました。

豊富な茶観光資源に恵まれた武夷山では、茶宿泊まり、茶膳ご賞味、古茶道ハイキング、銘茶飲み比べ、茶村探訪、茶風呂体験、茶戲鑑賞、茶加工技術の学習、茶舞習いなど、九つの形でお茶の癒しの効力が体験できます。

心身を癒す旅に出かけ、武夷山で心配事を払拭し、情緒的安らぎを取り戻し、完全にリフレッシュしましょう。

旅程 Itinerary 目安:二日 Suggested Duration: 2 days

武夷山で楽しむ茶事の9つの癒し体験:気分も気力も健康もアップ



○ 1日目 Day 1

午前：古茶道ハイキング

武夷山には多くの古茶道があり、茶の花の香りが漂い、マイナスイオンが豊富です。ゆっくり散歩しながら肺を浄化するのに最適な環境です。

春には花が咲き、茶の木が新芽を出し、桃、桜、菜の花、未知の山野草が茶の山に咲き乱れます。

一本の古茶道を選んで歩き、春ならではの幸せを満喫しましょう。

おすすめルート
Recommended Spots

01 岩骨花香慢遊道

水簾洞口→天車架→慧苑→流香澗→大紅袍母樹→大紅袍駐車場

02 洞天仙府慢遊道

大紅袍駐車場→馬頭岩→磊石精舎→悟源澗→胡麻澗→天游峰頂→中正公園→桃源澗→雲窩→天游駐車場

03 岸上九曲慢遊道

星村渡頭→道院洲→鼓楼坑口→桃源洞路口→雲窩→武夷精舎→天游駐車場



○ 午後：無形文化遺産の製茶技法チャレンジ

武夷岩茶の伝統的な製茶技法には、武夷山の先人たちの知恵が結集されています。この伝統的な技法を体験することで、精神を研ぎ澄まし、体の協調性を高め、気質を養うことができます。

5月は武夷山の茶摘みと製茶の最繁忙期で、山は忙しい茶人でいっぱいになります。武夷岩茶の伝統的な製茶技法、茶葉の摘み取りから一杯のお茶を淹れるまでの全過程を体験するには、この時期が最適です。



おすすめスポット

Recommended Spots

茶言精舎茶莊園
Chayan Jingshe Tea Garden

瑞泉岩茶博物館
Ruiquan Rock Tea Museum

福蓮茶莊園
Fulian Tea Plantation

陶淵茗非遺体験館
Taoyuanming Intangible Cultural Heritage Experience Center

皇龍袍茶莊園
Huanglongpao Tea Plantation

武夷星茶文化博物館
Wuyistar Tea Culture Museum

駿徳正山小種紅茶文化体験館
Junde Lapsang Souchong Black Tea Experience Center

香江茗苑
Xiangjiang Tea House

○ 午後：銘茶飲み比べ

茶葉にはカリウム、カルシウム、マグネシウム、マンガンなどのミネラルが豊富に含まれています。茶荘でお茶を楽しみながら疲れを癒し、リフレッシュの時間を過ごしましょう。

暖かい午後の日差しを浴びながら、ストーブを囲んで温かいお茶を飲み、自由におしゃべりするのも良いですし、キャンプに出かけて都会の喧騒から離れ、静かな山や野原でお茶を楽しむのも素敵でしょう。

おすすめスポット

Recommended Spots

福蓮茶莊園 Fulian Tea Garden	正山堂茶莊園 Zhengshantang Tea Garden	九龍灣貢袍大衆茶館 Jiulongwan Gongpao Public Tea House
武夷星・茶之旅茶莊園 Wuyistar Tea Garden	宋街大衆茶館 Songjie Public Tea House	印象建州大衆茶館 Jianzhou Impression Public Tea House
武夷香江茗苑 Wuyi Xiangjiang Tea House	香甘厚大衆茶館 Xiangganhou Public Tea House	壺光山舎大衆茶館 Huguang Shanshe Public Tea House
茶言精舎茶莊園 Chayan Jingshe Tea Garden	皇龍袍大衆茶館 Huanglongpao Public Tea House	

○ 夜：茶膳ご賞味

お茶を取り入れた武夷茶膳は、肺臓を滋養し、脾臓を活性化する健康効果があることで知られています。メニューとしては、大紅袍の煮卵、大紅袍ミルクティー、牛欄坑肉桂風味のビーフシチュー、老欖水仙風味の鴨スープ、鉄羅漢詰め竹の子、赤目魚の水金亀蒸し、岩骨花香風味の焼きラムチョップ、キノコとスペアリブの白茶シチュー、三種野菜の山茶油炒め、茶スープの手打ち麺、正山紅茶スープの小湯円などがあります。

おすすめスポット

Recommended Spots

福蓮茶莊園 Fulian Tea Garden	泓林大酒店 Honglin Hotel	望峰花園酒店 Wangfeng Hotel
悦華酒店 C&D Resort Wuyi Mountain	武夷山莊 Wuyishan Villa	佰翔花園酒店 Fliport Garden Hotel Wuyishan
太偉風景酒店 Taiwei Scenic Hotel	崇陽溪山莊 Chongyangxi Mountain Villa	武夷・椿泊度假酒店 Haloyon Villa Wuyi
嘉元千禧度假酒店 Jiayuan Millennium Hotels and Resorts	青竹山莊 Qingzhu Mountain Villa	中維海晟国際大酒店 Zhongwei Mount Wuyihashare Hotel



○ 夜：茶宿泊り

武夷山の茶テーマの宿泊施設では、茶線香、お茶を楽しむスペース、お茶を淹れるための水、茶菓子、お茶のアメニティ、囲炉裏などが標準装備化されています。これらの施設は溪谷や茶園、川辺に位置しており、静かな隠れ家として自然と触れ合うことができます。



○ 2日目 Day 2

午前：茶村探訪

烏龍茶と紅茶の産地として世界的に有名な武夷山。この美しい山々を背景に、茶園をのんびりと歩いてみましょう。絵に描いたような風景の中で、新鮮な空気を吸い込みながら、エクササイズを楽しんだり、文化に触れたりすることで、心身ともに究極のリラクゼーションを味わうことができます。

万里茶道の起点——下梅村
Xiamei Village: The starting point of the Ten Thousand Li Tea Route

正山小種の産地——桐木村
Tongmu Village: The birthplace of Lapsang Souchong

武夷岩茶の第一鎮——星村鎮
Xingcun Town: The hub of Wuyi rock tea

老欖(老枞)の郷——漿溪村呉三地
Wusandi, Jiangxi Village: The home of old fir narcissus tea



生態茶園 Ecological tea gardens

燕子窠生態茶園
Yanzike ecological tea garden

旗山生態茶園
Qishan ecological tea garden

大坪洲生態茶園
Dapingzhou ecological tea garden

半月山生態茶園
Banyueshan ecological tea garden

南源嶺生態茶園
Nanyuanling ecological tea garden

桐木生態茶園
Tongmu ecological tea garden

○ 午前：茶舞習い

武夷茶舞は、茶摘み、茶葉選別、揺青、淹れる、献ずる、味わうなどの動作を取り入れた4組の振りから構成されており、武夷山の伝統的な茶文化と製茶技術を融合させたものです。この踊りの練習を通じて、心肺機能を向上させ、体の安定性と柔軟性を高めることができます。有酸素運動の楽しさを体験しながら、心と体を若返らせる効果も期待できます。

おすすめスポット

Recommended Spots

武夷山風景区の南ゲート

South Entrance of Mount Wuyi Scenic Area

蘇閩広場

Sumin Square

茶博園

Wuyi Tea Exhibition Garden

○ 午後：茶風呂体験

茶葉に含まれるポリフェノールとテオフィリンは、心血管疾患のリスクを効果的に軽減することができます。茶のエキスが入った温泉に浸かると、新陳代謝が促進され、血液循環が活性化されることで、筋肉がほぐれ、経絡の詰まりが解消され、痛みが和らぎます。

おすすめスポット

Recommended Spots

印象・泰自然茶湯温泉酒店

Impression Thainatural Chatang Hotspring Hotel

且慢山居温泉民宿

Qieman Shanju Hotspring Guesthouse

温徳姆花園酒店

Wyndham Garden Wuyishan

印象主題温泉別墅客棧

Impression-themed Hotspring Villa

一曲相思·矮胡

Yiqu Xiangsi Aihu Resort Hotel

美凱温泉酒店

Meikai Hotspring Hotel



○ 夜:茶戲鑑賞

美しい風景に身を委ね、自然の中でパフォーマンスを鑑賞しましょう。これにより、脳が活性化され、五感が刺激されるはずです。

おすすめイベント

Recommended Shows

『印象・大紅袍』山水实景ショー
Impression Dahongpao Show

『三茶問韻』公演
Tea Culture Performance



武夷山市文化体育旅游局

Wuyishan Municipal Bureau of Cultural Sports and Tourism

担当:黄新偉

☎ 13859376101

Contact Person: Huang Xinwei

✉ 44334935@qq.com



「お茶の癒し九選」
詳細について

Scan the QR code for
more details



武夷山観光
公式アカウント(WeChat)

Wuyishan
Tourism WeChat
public account

安徽黄山「茶韻の天下」黄山毛峰コース

Anhui's Huangshan and the Huangshan Maofeng Tea Route

背景 Background

1915年のパナマ万国博覧会で、黄山毛峰茶は中国十大銘茶に選ばれました。黄山毛峰の発祥地である黄山では、景勝地と茶文化を融合させ、中国の銘茶を世界に広めるために取り組んでいます。茶摘み体験や茶文化博物館の見学などを通じて、黄山毛峰茶の歴史をより深く知っていただけることを願っています。

現在、安徽省の黄山はユネスコの世界遺産、世界ジオパーク、国家5A級観光地に認定されています。このツアーコースは、世界中の観光客が安徽省黄山の美しい景色を楽しみながら、中国の銘茶の独特な魅力を体験できるように設計されています。

茶園体験の流れ

Tea Garden Experience Process

茶摘み体験：生態茶園に入り、小さな竹かごを背負って、茶を摘む喜びを体験します。

製茶体験：無形文化遺産に指定されている製茶技法を見学し、実際に体験することができます。

訪問：謝裕大茶文化博物館を訪れ、徽茶文化について深く理解します。

お茶のご堪能：お茶に関する知識やお茶の淹れ方、保存方法、関連する作法やマナーを学びます。

旅程 Itinerary

目安：四日 Suggested Duration: 4 days

○ 1日目 Day 1

黄山市

まずは、徽商故里レストランでウェルカムディナーをお楽しみください。その後、中国の名画「清明上河図」を彷彿とさせる屯溪老街を訪れるチャンスがあります。ここでは、異なる時代に建てられた300以上の徽派建築が立ち並んでいます。店舗のレイアウトは主に「前に店、後ろに作業場」という形式で、地元の特産品であるお茶、椎茸、冬筍、文房四宝、そしてさまざまなスナックが販売されています。年月を重ねた馬頭壁は、多彩な提灯の下で独特の風情を醸し出しています。



すぐ隣には、新しく完成した屯溪河街があります。ここでは地元の無形文化財の伝統的なスナックだけでなく、全国各地の有名なスナックも楽しめます。ユニークなウォーターフロントの景観に現代的な照明デザインが加わり、おしゃれなスタイルで、河街は屯溪川沿いのナイトツアーの人気スポットとなっています。

夕食：徽商故里レストラン

宿泊：黄山市中心部のホテル

○ 2日目 Day 2

屯溪—謝裕大茶文化博物館—新安江夜散歩

まず、バスで謝裕大茶文化博物館へ向かいます。この博物館では、実物展示、茶道体験、試飲、無形文化遺産としての茶作り体験、茶に関する研究や学術活動などを統合しており、徽州文化と茶文化の普及をテーマにしています。豊富なコレクションや歴史文書、遺物を通じて、現代的な美意識に基づいた展示方法で中国茶文化の精髓を紹介しています。歴史的遺物、茶経、茶の絵画、茶の技術、茶道具を活用し、中国茶文化の本質と徽州商人の商道精神を探りながら、訪問者が徽州茶文化の歴史的発展を直接体験できるようになっています。茶文化に興味がある方も、単にお茶の試飲を試したい方も、ここで楽しみを見つけることができます。



訪問後は、屯溪市街地に戻り、夕食をお楽しみください。夕食後は、新安江沿いの観光エリアを散策するのがおすすめです。ここでは、徽州の古典的な特徴に浸りながら、陰影のある回廊や徽州彫刻が施された照壁、摩崖彫刻、湖畔の水利施設、歴史ある村々、古牌坊などを目にするすることができます。

朝食：ホテル内/ 昼食：徽州風の茶宴 / 夕食：安徽料理(臭鰻魚、毛豆腐)

宿泊：市街部のホテル

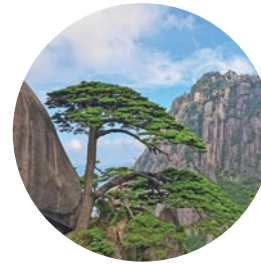




○ 3日目 Day 3

屯溪—黄山风景区—屯溪

バスで世界文化遺産と自然遺産の複合的遺産である黄山景区へ向かいます(約50分)。獅子峰、夢筆生花、石猿望海、散花塢、始信峰、黒虎松、龍爪松、十八羅漢朝南海、童子拝観音など、美しいスポットを見逃さずに楽しんでください。山を下りる際は、雲谷ケーブルカーを利用します。景区内のシャトルバスでバスターミナルに到着後、バスに乗り換えて屯溪市内に戻ります。



朝食: ホテル内/ 昼食: 山頂でのbuffet / 夕食: 安徽料理

宿泊: 黄山市中心部のホテル

○ 4日目 Day 4

屯溪—帰路



黄山中国国際旅行社有限公司

Huangshan China International Travel Service

担当: 王芳

Contact Person: Wang Fang

☎ 13013121188

✉ 2815920753@qq.com

壮美たる広西・お茶が織り出すハーモニーの世界

Splendors of Guangxi · Tea for Harmony

背景 Background

広西チワン族自治区には、多様な自然景観が広がり、その中で中国古来の不朽の伝統である茶文化が息づいています。山々の地形が変化するにつれ、人々の営みも様々に変遷してきました。広西チワン族自治区のお茶は、単なる飲み物を超え、それ以上の役割を果たしています。

お茶は秘められた記憶を呼び覚まし、心に無数の美しいイメージを思い浮かばせてくれます。それは、この地域特有の壮大な景色であったり、少数民族の豊かな文化であったり、時代を超えて響き渡る茶摘みの歌であったりします。

おすすめの出入りルート

Entry and exit

桂林より入境
Entry from Guilin



南寧より出境
Exit from Nanning

国内交通

Domestic transportation

豪華観光バス
Luxury tour coach for the whole journey



茶文化交流会
Tea culture sharing meeting

無形文化遺産の製茶、茶器体験
Intangible cultural heritage
tea making, tea ware experience

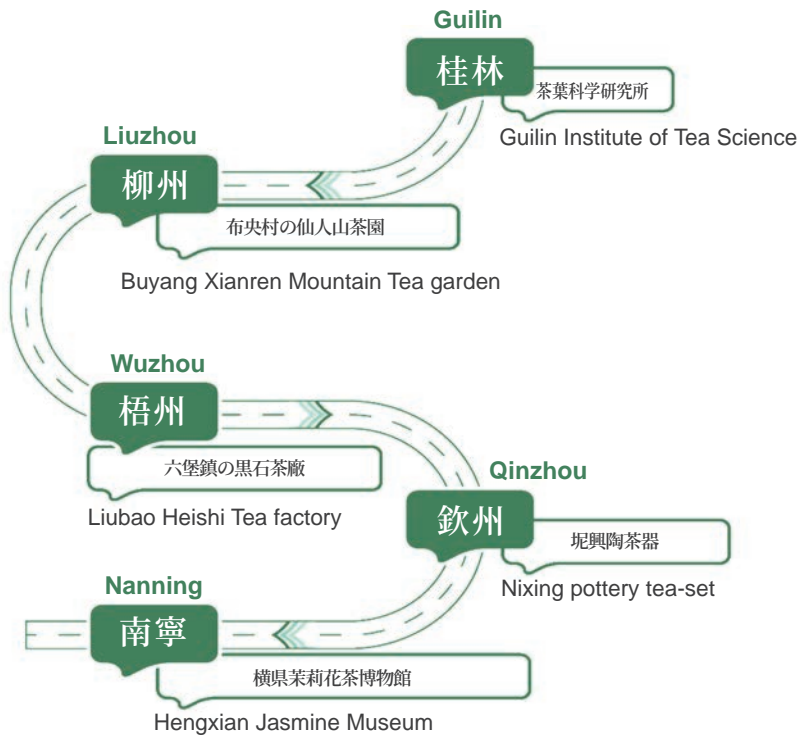
無形文化遺産の油茶宴
Intangible cultural heritage:
Oil tea banquet

旅程の特徴
Itinerary Features

自然の山水と景観
Natural Landscape

少数民族の風情
Customs of ethnic minority groups

旅程 Itinerary 目安:七日 Suggested Duration: 7 days



○ 1日目 Day 1
桂林より入境

特別体験 Unique Experiences

桂林北部の特色ある飲食体験:油茶

入国に際しては、必要な書類やビザを事前に準備しておく必要があります。



○ 2日目 Day 2
布央村の仙人山/ 程陽八寨

特別体験 Unique Experiences

百家宴と茶摘み

桂林からバスで三江トン族自治県布央村の【仙人山茶園】へ移動します。ここでは、茶摘み体験を楽しみながら地元の茶農家と交流します。昼食の後は【程陽八寨】へ移動し、地元の製茶技法を体験します。また、全国重要文化財に指定された程陽永濟橋を見学します。トン族の最高レベルのおもてなしである百家宴で夕食を楽しんだ後、桂林に戻ります。



○ 3日目 Day 3
桂林茶葉科学研究所 / 六堡茶館

特別体験 Unique Experiences

六堡茶ご堪能 / 茶樹の品種識別

【桂林茶葉科学研究所】を訪れ、現代の茶園栽培と関連する研究成果を見学します。昼食後、観光バスで梧州へ移動し、【六堡茶館】で広東・広西地方の茶飲み習慣を体験します。夜は梧州に泊ります。



○ 4日目 Day 4

黒石茶廠 / 六堡茶博物館

特別体験 Unique Experiences

「茶船古道」は、茶の栽培、製茶、交易、淹れ方など、多くの過程において、各民族の交流と融合の歴史を示しています。



【六堡黒石茶廠】を訪れ、六堡茶の現代的な製茶技法や製茶基準を学び、茶船古道の歴史を探求します。

茶船古道は、六堡鎮を起点としています。この道は山々と海を越え、貿易路としてのみならず、文化の回廊としても機能し、さまざまな地域や民族間で密接な経済と文化の交流を促進してきました。そして、中国文化の保存において重要な役割を果たしています。

○ 5日目 Day 5

坭興陶産業園 / 茶摘劇

特別体験 Unique Experiences

欽州にて伝統芸能の茶摘劇を鑑賞し、坭興陶の茶器作りに挑戦します。夜は欽州に泊ります。



○ 6日目 Day 6

茉莉花茶博物館 / 南寧

特別体験 Unique Experiences

【茉莉花茶博物館】でジャスミンティーの製茶技法を体験します。



○ 7日目 Day 7

南寧より帰路へ

桂林中国国際旅行社有限責任公司

China International Travel Service Guilin Co.,Ltd

担当: 温舜梅 / 劉静文

Contact Person: Wen Shunmei / Liu Jingwen

☎ 13978309766 / 18278395201 / 0773-2861806

✉ wenshunmei@citsguilin.com

ヒスイの影に流れる香り～ 貴州におけるお茶の習俗と無形文化遺産の美

Emerald Shadow and Flowing Fragrance
The Beauty of Tea Customs and ICH Wellness in Guizhou, China

背景 Background

茶文化：

都勻毛尖茶は中国の歴史的な銘茶として、その摘み取りから炒製、飲用に至るまで茶の文化的な蓄積を体現し、日常生活においてもその芸術性を反映しています。観光客はお茶を味わうだけでなく、スイ書や馬尾刺繍などの無形文化遺産を体験し、貴州の民族風情を感じることができます。

テーマ：

「ヒスイの影に流れる香り」とは、茶の色味と香り、そして貴州の自然の清新さと養生に最適な環境を象徴しています。観光客は、茶園から一杯のお茶まで、茶の全過程を体験し、茶と自然、文化、養生の調和した一体感を感じることができるでしょう。適切な気候条件の下での旅行をお勧めします。

メインエリア：

都勻毛尖茶の主要産地、無形文化遺産の工房、民俗村、そしてヤオ族の伝統的な入浴体験が含まれています。季節の変化に応じて体験内容を調整し、訪問者が都勻の茶文化と民俗習慣に完全に没頭できるように工夫します。

コンセプト：

「自然、文化、調和、健康」の四要素に焦点を当て、観光客が貴州の茶文化と無形文化遺産を深く理解すると同時に、自然の美しさを楽しみ、身心のリラクゼーションと健康を促進することを目的としています。

旅程 Itinerary

目安:七日 Suggested Duration: 7 days

- 1日目 Day1
貴陽に到着
- 2日目 Day 2
貴陽から都匀へ(約2時間の車程)、「茶文化初体験」、中華茶文化博覧園訪問
- 3日目 Day 3
ロケ地と茶旅の融合: 都匀螺系穀景区、都匀秦漢影視城
- 4日目 Day 4
都匀—三都(約1.5時間)—荔波(約1.5時間) スイ族文化博物館と無形文化遺産の技術を体験
- 5日目 Day 5
荔波—小七孔(約1時間)—瑶山古寨(約0.5時間) 荔波の美しい山水とヤオ族の風情を深く体験

- 6日目 Day 6
荔波—独山(約2.5時間)—都匀(約2時間の)。天洞探索と浄心谷景区で心身の修養を深めることができます。
- 7日目 Day 7
都匀—貴州緑博園(約0.5時間)—貴陽(約2時間)



貴州文化体験 Experiencing of Guizhou Culture

1日目 Day 1
貴州省の省都、貴陽へようこそ

茶園探索：茶摘みを楽しむ Exploring Tea Garden: Joy of Tea Picking

2日目 Day 2
黔南州の州都、都匀市に到着

中華茶文化博覧園を見学：緑豊かな茶園に足を踏み入れ、若葉に触れ、大地からお茶までの第一歩を体験します。これは自然に触れ合う旅であり、お茶の生命力を体感し、喜びを収穫できるでしょう。また、中国茶文化の発展の歴史を理解し、茶芸のパフォーマンスを鑑賞し、茶道のインタラクティブな体験クラスに参加して、お茶の作法とお茶を淹れる技術を学びます。



ロケ地と茶旅の融合 Blending Film Culture with Tea Tours

3日目 Day 3
都匀市

都匀螺糸殻景区を訪れ、生態茶園の魅力を感じ：著名な都匀毛尖茶の産地を巡り、その栽培歴史や製造工程を理解し、自ら茶葉を摘み取る楽しさを体験します。

都匀秦漢影視城巡り：秦漢時代の建築様式に囲まれ、漢服に身を包み茶文化の時空を超えた旅を楽しみます。

影視城内の茶文化体験：茶房で休憩し、ドラマ撮影班と同じお茶を試飲し、映像作品での茶文化の表現について学びます。



ウェルネスケア：お茶の香りの中でバランスを整えます Wellness Activities: Seeking Balance in Tea Fragrance

4日目 Day 4
三都に到着

無形文化遺産の工房では、各工程が伝統に対する敬意を示していることに気づくことができます。手作業を通じて職人の知恵を体験し、時を超えた技術が今も受け継がれていることに感動するでしょう。

スイ族文化博物館：貴州省三都スイ族自治県のスイ族文化博物館を訪れ、スイ族の歴史、民俗、スイ書文化を深く理解します。

無形文化遺産の技法を体験：スイ族特有の無形文化遺産である馬尾繡技術を実際に体験し、その古来の刺繡芸術の魅力を感じます。



荔波の山水とヤオ族の風情に浸る旅 Libo Landscape and Yao Customs

5日目 Day 5
荔波県に到着

「地球の緑の宝石」を求めて、荔波小七孔景区を訪れ、世界自然遺産地の美しい山水を堪能します。

瑶山古寨訪問：古寨の原始的な建築を鑑賞し、ヤオ族の生活様式を体験します。また、ヤオ族特有のお茶の製造とその味わいを体験し、ヤオ族茶文化の独特な魅力を感じることができます。ここでは、ヤオ族の伝統文化についての理解を深めることができます。

瑶浴体験：瑶山古寨でヤオ族の伝統的な薬草浴を体験します。この特別な健康法は地元の山林で産する多くの薬草が使用され、体の健康に役立つだけでなく、民族的な健康法体験として訪れる価値があります。



自然を探求しながら、お茶の香りの中でバランスを整えましょう Exploring Nature and Seek Balance in Tea Fragrance

6日目 Day 6 独山天洞景区探索

独山の山水の間で、お茶の香りに導かれて健康的なライフスタイルを追求します。ヨガ、温泉、瞑想など、身心のバランスを整えるイベントに参加し、生活のリズムをゆったりとし、平穏な時間を楽しみます。



天洞探索：独山天洞景区を訪れ、自然の驚異を鑑賞し、天地の美しさを感じます。

浄心谷景区で身心を修養：禅修や瞑想に参加し、自然の静けさを感じながら、身心の深い調和を体験します。また、野外のお茶会に参加し、浄心谷の美しい景色を楽しみながらお茶を味わい、天と人の一体感を体験します。

自然茶会：浄心谷の美しい環境で野外でのお茶会に参加し、景色を楽しみながらお茶を味わい、天と人の一体感を体験します。

黔南でのお茶と健康の旅を終えて、リフレッシュして帰路へ Concluding the Tour of Tea and Wellness in Qiannan

7日目 Day 7 貴陽へ戻り、帰路へ

貴州黔南緑博園：国内外の緑化成果を展示し、生態教育とレジャー観光を融合させた広大な公園です。異なる地域の植物文化や庭園芸術を楽しむことができ、また、さまざまな茶の木の品種や茶文化に触れることができます。



昼食後、貴陽市内に戻り、貴陽市のシンボルである甲秀楼を自由に探索したり、翠微小院でお茶を楽しみながら景色を堪能することができます。また、空港に向かって帰路につくことも選択できます。

魅力ポイント Unique Features

お茶のリズムと無形文化遺産のシンフォニー Symphony of Tea Charm and Intangible Cultural Heritage

世界レベルの無形文化遺産「都勻毛尖茶製作技法」

千年以上にわたり、天地の靈気が茶の木を育み、茶職人たちは知恵を結集して技術を極めてきました。この二つのインスピレーションが、淡い毛尖茶に世界中を魅了する魔法の香りを与えています。都勻毛尖の製茶技術は、その優雅な香りに浸りながら変化し、昇華し続けています。これが世界的に認められる無形文化遺産としての都勻毛尖製茶技術の神髄です。

お茶とスイ書が語り続ける「千年の物語」

スイ書はスイ族特有の文字で、天文学、地理学、宗教、民俗習慣、倫理、哲学、美学、法律などの領域を内包しています。それは、まるで毛尖茶葉の幽玄な魅力のようです。茶葉ごとに異なる形があるように、文字ごとに物語が詰まっています。千年もの間、茶とスイ書が絡み合いながら語り続ける文化の伝説は、詩のように響き続けてきました。

お茶と馬尾繡が織り出す多様な民族的情緒

スイ族の馬尾繡は1400年以上にわたり受け継がれており、「生きた化石」とも称される刺繡技術です。非常に複雑な職人技で知られ、その華やかさと美しさには驚かされます。馬尾繡の鮮やかな色彩と毛尖茶の上品な香りを楽しむことで、リラックスして幸せな気分になることができるでしょう。刺繡の針の下に描かれる模様は、ロマンチックな詩のように自然の調和を讃え、より良い生活への願いを表現しています。

春の茶山登り：「伝統と現代の融合」

都勻の茶芸は伝統的な茶道と現代的な美学が融合し、まるで時空を超えた対話のようなものです。お茶は単なる飲み物ではなく、暮らしの芸術でもあります。お茶を深く味わう者は、その詩的で深遠なエッセンスの中に秘められた悟りと安らぎを見出すことができるでしょう。

お茶の香りと民族風情の絵巻

A Scroll Painting of Tea Fragrance and Ethnic Customs

都匀の茶山の下ではお茶の香りが漂い、プイ族の民族風情と交じり合い、鮮やかな絵巻を描いています。それぞれのお茶ごとに独自のスタイルがあり、それに伴う儀式には秘められた文化が息づいています。

欄門茶: プイ族の温かいおもてなし

一杯の香り高いお茶は、心からの招待です。玄関の前にお茶を置き、酒の代わりにお茶を用意することで、プイ族の温かさともてなしの心を感じることができます。一口ごとに家族のような温もりと絆を感じることができるのです。



竹竿踊り: お茶の香りに包まれた歓びのステップ

青竹のリズムに合わせて、お茶の香りの中で花咲くプイ族の竹竿踊り。踊り手の軽やかなステップは、茶碗の中で舞う茶葉のようであり、その陽気な動きには人生への情熱と自然への畏敬の念が表れています。



お茶の祭典: 多彩な民族風習の饗宴

年に一度の都匀のお茶祭りは街で最も活気に満ちた時期です。さまざまな民族が集い、お茶を楽しみながら友人と交流し、歌い踊り、愛を分かち合います。この祭りは単なるお茶の祭典にとどまらず、多彩な民間伝承や伝統技術の饗宴でもあります。

特色グルメ

Specialty Cuisine



都匀毛尖茶宴【雲上の毛尖(芙蓉魚片)】
Duyun Maojian Tea Banquet
[Yunshang Maojian Tea (Fish Slices)]



スイ族風味料理: 糟辣酸湯魚など
Special Dish of Shui Ethnic Group:
Fish in Spicy and Sour Soup, etc.

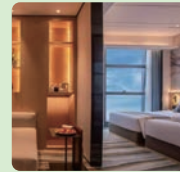


独山子豚の丸焼き
Dushan Roast
Suckling Pork



都匀毛尖ブティックリゾートホテル

都凱大道の茶博園に位置しており、ゲストは緑茶の香りに包まれた快適な滞在が楽しめます。5A級の景勝地「毛尖小鎮」に隣接しており、時空を超えたユートピアの楽園への旅を提供します。



星河湾酒店(スターリバーベイホテル)

美しい「中国橋城」、貴州省黔南州都匀市の中心に位置しています。壮麗な外観とモダンでシンプルなデザイン、ヨーロッパのクラシックな要素が見事に融合し、豪華さとエレガンスが調和しています。快適な環境と便利な交通手段をお楽しみいただけます。



瑶山古寨民宿

ヤオ族の生活を本格的に体験できる場所です。ゲストは伝統的なヤオ族の歌や踊りを楽しみながら、焚き火の集まりに参加し、ヤオ族の家庭で出されるお茶を味わうことができます。ここでは、ヤオ族の温かいおもてなしを体験できる貴重な機会が提供されています。

入国ルートについて

Suggestions on entry methods

直行便がない場合、香港、成都、重慶から高速列車で貴陽に来ることをお勧めします。東南アジアからの旅行者は、貴陽へ直接飛行するか、中国-ラオス鉄道を利用して貴陽にアクセスすることができます。国内では、高速道路や鉄道を利用して都匀に来ることができ、観光バスも利用可能です。

貴州省中国青年旅行社有限公司

China Youth Travel Service.Guizhou Co.,Ltd

担当:劉城慧

Contact Person: Liu Chenghui

☎ 18985116018

✉ 406528103@qq.com



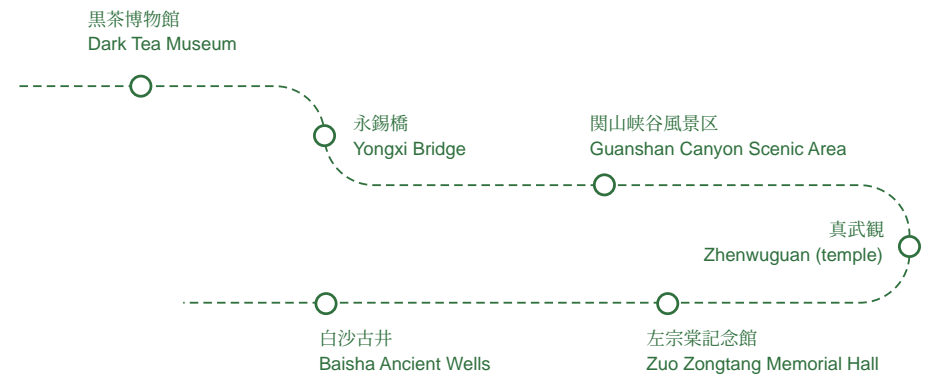
茶のハーモニー・湖南黒茶堪能の旅

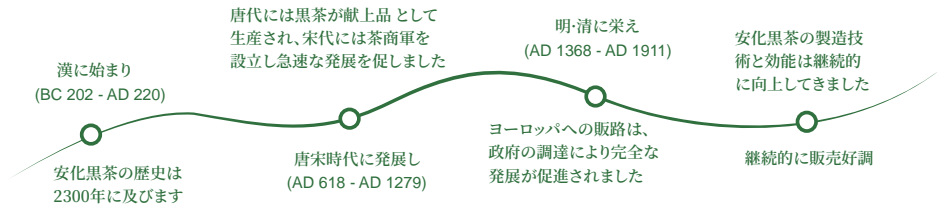
Tea for Harmony - A Journey of Tasting Dark Tea in Hunan

背景 Background

黒茶は後発酵茶として長い歴史を誇り、その起源は漢代(紀元前206年—紀元後220年)の四川に遡ります。当時、輸送の困難さから茶葉は運搬中に湿度の変化にさらされ、微生物による発酵が進むことで、元の茶とは異なる独特の品質が生まれました。

黒茶は茶馬古道を通じて長距離で取引され、中国の北西部地域や西藏地方にも広まりました。これらの地域では肉食中心の食生活が主流であったため、黒茶は消化を助ける重要な資材として重宝されていました。黒茶の製造工程は主に殺青、揉捻、渥堆、乾燥の4つの工程からなります。特に渥堆の工程は、黒茶の独特な風味を形成するために重要な役割を果たします。





旅程 Itinerary 目安: 四日 Suggested Duration: 4 days

○ 1日目 Day1

長沙市



○ 2日目 Day2

バスで安化に移動し、黒茶博物館を訪れます。その後、【永錫橋】を見学し、古茶馬道の【関山峡谷風景区】を探訪します。安化に宿泊します。



○ 3日目 Day3

真武観を訪れた後は湘陰に向かい、左宗棠記念館を見学します。湘陰に宿泊します。



○ 4日目 Day4

バスで長沙に戻り、白沙古井を訪れます。



観光スポット

Attractions



歴史名城

Famous historical city

山と河川に囲まれた洲の町

A city with rivers, islands, and mountains

中国黒茶博物館では、黒茶の「起源→新紀元→探求→伝説→堅持→興隆」という歴史的な軌跡を辿りながら、安化黒茶の歴史と文化的な物語が紹介されています。展示では、清朝の両江総督であった陶澍と安化黒茶との関わり、また「黒茶理論の父」と称される白沙溪茶廠の創設者・彭先澤、清朝の雲貴総督であった羅繞典、書道家の黄自元の物語などを通じて、黒茶の深い歴史とその文化的背景を理解することができます。

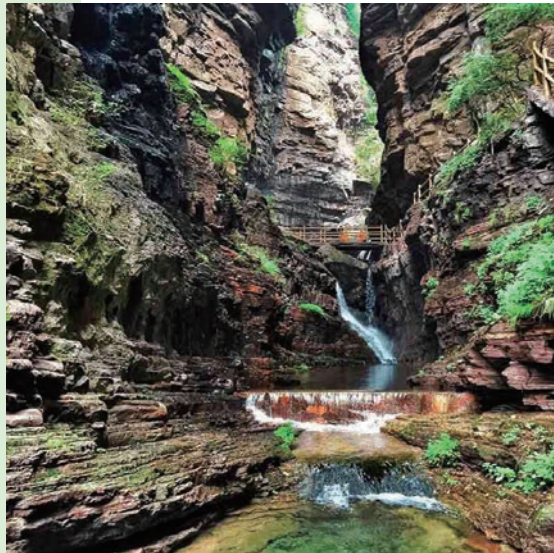
永錫橋は、湖南省安化県江南鎮錫潭村に位置し、南北方向に麻溪を横断しています。この橋は清代の木造風雨廊橋で、清光緒4年(1878年)に建設されました。湖南省安化県で最大規模かつ保存状態が良好な橋とされ、全国重点文物保護単位にも指定されています。





関山峡谷

関山峡谷は安化茶馬古道風景区に位置し、峡谷の両岸は断崖絶壁で形成されています。岩壁には灌木や藤蔓、苔が茂り、四季折々の色彩と生命の息吹が感じられます。崖の頂上には古木が繁茂し、茂みが空を覆い、細い光が射し込む幻想的な風景が広がっています。



安化真武観

安化真武観は歴史長い壮大な道観で、その高樓からは周囲の風景を一望できます。歴史的な背景と宗教的な雰囲気が融合し、訪れる者に深い感銘を与えます。



左宗棠記念館

左宗棠記念館は中国近代史の伝説的人物である左宗棠を記念して建てられました。彼は軍人として新疆の奪還に成功し、官員としては西洋の先進的な工業技術の学習運動を推進し、中国近代工業の基礎を築きました。この記念館では、左宗棠の功績とその時代背景について深く学ぶことができます。



白沙古井

白沙古井は江南地方で著名な湧き水の一つで、その澄みきった透明な水と甘く美味しい味わいで知られています。この古井の水と古茶を組み合わせることで、旅の締めくりに完璧な一杯を楽しむことができます。清らかな水と伝統的な茶の絶妙なハーモニーをぜひご体験ください。



湖南省中国旅行社有限公司

China Travel Service Hunan Co.,Ltd

担当: 屈麗萍

Contact Person: Qu Liping

☎ 13755122818

✉ 40755297@qq.com

恵山古鎮茶韻の旅

Huishan Ancient Town Tea Tour

背景 Background

古鎮の地理位置と歴史的背景

Geographic location and historical background of the ancient town

恵山古鎮景区は無錫市の恵泉山麓に位置し、賑やかな都市の中で静かな隠れ家として知られています。総面積は3.5平方キロメートルで、その中心的観光エリアは1.09平方キロメートルに及びます。ここには、歴史文化地区、文化財地区、名勝地区、そして森林保護区が含まれており、自然の酸素を満喫し、のんびりとした生活を体験するには理想的な場所です。

このエリアには200以上の名勝地が点在し、唐代から現代に至るまで1000年以上の歴史を誇ります。歴史的な文化財と美しい山水景観を楽しむことができ、国家級の重要な観光地として多くの訪問者を魅了しています。静かに探索することで、中国の歴史と文化が融合した街路の美しさと心の清浄さを感じることができるでしょう。

古鎮の建築スタイルと庭園の特徴

The architectural style and garden features of the ancient town

恵山古鎮の建物や庭園は非常に独特で魅力にあふれています。古鎮の建物は優雅さをもち、江南地方の伝統的な建築様式が取り入れられています。白い壁と黒い瓦、飛檐と斜めの屋根が特徴で、静かで上品な美しさを醸し出しています。

庭園の配置も非常に巧妙で、小さな橋や流れる小川、曲がりくねった小道があり、静かで落ち着いた雰囲気を作り出しています。古鎮の庭園設計は自然の景色と人々の手による景観をうまく組み合わせしており、美しい山水、古い木々、香り豊かな花々に囲まれた隠れ家のような場所を提供しています。これにより、訪れる人々はまるで江南の名画の中を歩いているかのような気分になり、時間が止まっているかのように感じられます。

この美しい風景の中を歩くと、心が落ち着き、穏やかな時間が流れる素晴らしい空間に浸ることができるでしょう。

古鎮と茶文化の深い歴史的因縁

The ancient town and its deep connections with tea culture

恵山古鎮は茶文化と深い歴史的な結びつきがあり、古くから茶文化の重要な発祥地の一つとして知られています。この古鎮には多くの茶館が点在し、常にお茶の香りが漂っています。ここで提供されるお茶は、豊かな味わいを持つだけでなく、その文化的背景にも深く根ざしています。

古鎮の建築様式と庭園の特徴は、茶文化と見事に調和しています。白い壁と黒い屋根の伝統的な建物、流れる水路に架かる橋、そしてお茶の香りが交わる風景は、古き良き時代の魅力を際立たせています。訪れる人々は、香り高いお茶を味わいながら、茶文化の独特な魅力を感じ、穏やかに優雅な生活様式を体験することができます。

恵山古鎮の風景は茶文化の深い歴史を感じる場として、多くの訪問者に心安らぐひと時を提供しています。その静かで優雅な雰囲気は、訪れる人々の心に深く残ります。

旅程 Itinerary

目安: 一日 Suggested Duration: 1 days

古鎮茶文化体験の旅

An immersive journey into the Tea Culture of the Ancient Town



恵山古鎮内の観光スポットには、寄暢園、天下第二泉、陸子祠、大石山房などがあります。



恵山の金蓮茶を味わい、その製造工程と特徴について学びます。



茶芸のパフォーマンスを見学し、お茶を淹れることや味わうことの優雅さを体験しましょう。

○ 恵山古鎮について

無錫市にある恵山は、長江以南で最初に位置する山です。この恵山の麓には「恵山泉」として知られる「天下第二の泉」があり、恵山泉茶文化の発祥地として歴代の文人や芸術家を魅了してきました。

唐代の茶聖・陸羽は、長江流域を遍歴しながらお茶を淹れるのに適した水を20種類に分類し、無錫の恵山泉を天下第二の水源にランク付けしました。さらに、唐代の水鑑定士・劉伯台も恵山泉を天下第二に評価しました。これらの専門家たちの一致した見解は、恵山泉の重要性を強調しています。

数世紀にわたり、無数の文人たちがこの泉を訪れ、彼らの足跡と文学作品を残しました。宋代の文学者蘇軾は月光の下で「天下第二の泉」を訪れたことを詠んだ詩を著し（「独携天上小团月、来試人間第二泉」）、明代の江南四大才子の一人である文徵明は、絵画で「恵山茶会」の様子を描き、「煮泉烹茶」「品茶論道」という風雅な文化伝統を永遠に記録しました。清の乾隆帝も複数回江南地方を訪れ、恵山泉での品茶や「道」に関する哲学的な議論に耽りました。彼は恵山泉に「天下第二の泉」の称号を公式に与え、恵山古鎮の茶文化は世の中に注目されるようになりました。

○ 恵山の金蓮茶: 歴史と風情を味わう贅沢な体験

恵山古鎮を訪れる際には、その象徴とも言える名茶「金蓮茶」を味わい、その製作工程と特徴を理解することは欠かせません。金蓮茶は金色に輝く蓮の花のような形が特徴で、古鎮の風情を極めて味わうことができる贅沢な体験を提供します。

製作工程は非常に巧みで、手作業で一輪一輪丁寧に摘み取った金蓮花を使用し、細心の注意を払って加工されます。このような細心の注意と熟練した技術により、金蓮茶の美しい外観と豊かな風味が生まれるのです。一口を味わうと、豊かな香りが広がり、滑らかな口当たりと長く続く余韻を楽しむことができます。

金蓮茶は単なる味覚の楽しみを超えて、恵山古鎮の深い歴史と文化を背景に、訪れる人々に忘れられない体験を提供します。この特別な茶は、恵山の自然の美しさと人々の生活の調和を象徴しており、古鎮の魅力を堪能するための一杯となるでしょう。

○ 茶芸のパフォーマンスと優雅な体験

茶芸のパフォーマンスを鑑賞し、お茶を淹れて味わうことは、まるで流れる絵巻の中に身を置いたかのような感覚を与えてくれます。茶芸師の巧みな技術とともに、茶葉が開き香りが立ち上る瞬間は、心を穏やかにし、目の前のひと時を特別なものにしてくれます。

お茶を口に含んだ瞬間、広がる余韻は贅沢であり、心に静けさをもたらします。その一杯には、古くから続く茶文化の歴史と自然の恵みが凝縮されており、訪れた人々に忘れられない体験を提供します。



観光スポット

Attractions

恵山古鎮において、必ず訪れるべきスポットは寄暢園、天下第二泉、陸子祠、そして大石山房です。

寄暢園

寄暢園は無錫の秦家によって築かれた古典庭園で、別名「秦園」とも呼ばれています。無錫の秦家は北宋の詩人・秦觀の子孫であり、名門の家柄です。明の嘉靖年間、名臣・秦金は老齡を理由に故郷に戻り、恵山寺の僧舎を購入して「鳳谷行窩」という風流な庭園を作り上げました。この庭園は山林地に建てられており、都会的な江南庭園とは異なる独特の魅力を持っています。

庭園は恵山の地形に沿って巧みに配置され、土と石を集めて作られた人工の山が錫山を背景にし、本物の山と一体化しています。このため、庭園内には自然と人工が見事に調和した美しい景観が広がっています。

天下第二泉

恵山の麓にある「天下第二泉」は、長江流域で最も名高い泉の一つとして知られています。唐代の茶聖・陸羽がその水質を高く評価し、「天下第二の泉」と称しました。数世紀にわたり、多くの文人や芸術家がこの泉を訪れ、その水の清らかさを称賛しました。



陸子祠

陸子祠は唐代の茶聖・陸羽を記念して建てられた祠です。彼は中国茶文化の発展に大きな貢献をし、その功績を称えるためにこの祠が設立されました。祠は静かで神聖な雰囲気に包まれており、陸羽の業績を振り返るには最適な場所です。

大石山房

大石山房は元々清代の秦氏双孝祠の遺構であり、この地は山に寄り添い、水辺に接しています。廊橋が伸び、巨大な樹木が庭を覆い尽くし、お茶を楽しみながら休息するのに最適な場所となっています。

恵山古鎮は魅力に満ちた古い街であり、昼も夜も訪れる価値のある多彩な活動や見どころがたくさんあります。ここでは江南の風情と茶文化の深い底力を感じることができ、旅がより思い出深いものになるでしょう。

アクセスと国内交通について

Mode of entry and exit and domestic transportation

恵山古鎮を訪れる際、いくつかのアクセス方法があります。空路を利用する場合、蘇州南部の蘇南碩放空港が最も便利な選択肢です。国内の観光客は公共交通機関、または車で訪れることができます。

○ アクセス方法

- ・地下鉄: 地下鉄4号線に乗車し、恵山古鎮駅で下車します。駅の出口からすぐに古鎮にアクセスできます。
- ・車: 梁溪路を西に進み、恵山トンネルを通過してから右折して景区に入ります。ただし、古鎮内の道路は狭いため、運転の際は特に注意が必要です。

○ 旅行のアドバイス

- ・訪問時間: 混雑のピークを避け、早朝や夕方を訪れることをお勧めします。これにより、静かな古鎮の風情を存分に楽しむことができます。
- ・準備物: 十分な水分と軽食を持参しておくとお安心です。また、日焼け止めや帽子などの対策も忘れずに。
- ・飲食: 古鎮内では地元の名物料理を堪能できますが、飲食の衛生やアレルギーには注意が必要です。観光スポット周辺のレストランは事前に口コミをチェックするとよいでしょう。
- ・宿泊: 個性的なゲストハウスや民宿を選ぶと、清潔で快適な環境が整っており、旅の満足度がさらに高まります。早めの予約を心がけましょう。



無錫市恵山古鎮文化旅游發展有限公司

Wuxi Ancient Town Of Huishan Cultural Tourism Development Co. Ltd

担当: 朱麗敏

☎ 13771567163

Contact Person: Zhu Limin

✉ 82995167@qq.com

茶館巡りと胡同散策、本場の生活を満喫する北京の旅

Take a day to soak in the tea house atmosphere, wander through the hutongs, and experience what it's like to be a true Beijinger.

背景 Background

北京の茶館は清代から栄え、今でもその伝統が息づいています。茶館は北京の街に独特な景色を作り出し、訪れる人々に特別な体験を提供します。北京の老舗茶館に足を踏み入れ、伝統的な茶点を味わいながら人々がお茶を手にして友と語らう様子を見ていると、和やかな雰囲気の中で北京の人々の生活や文化に触れることができます。

次に、胡同(フートン)と呼ばれる狭い路地へと足を運びます。胡同は、北京の古い街並みを感じられる場所で、伝統的な住居が立ち並んでいます。胡同の奥深くへ歩みを進めば、都市の喧騒から離れ、静かで落ち着いた雰囲気に包まれます。ここでは昔ながらの風情を感じながら、のんびりとした時間と共に北京の人々の生活に触れることができます。地元の人々と交流し、彼らの暮らしぶりや習慣を知ることで、さらに深い文化体験が得られます。



旅程 Itinerary

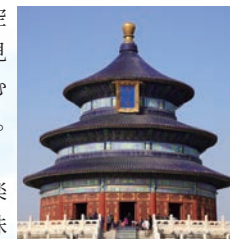
目安:五日 Suggested Duration: 5 days

○ 1日目 Day1

天壇公園→老舎茶館

天壇は中国で現存する最大の古代の祭天建築群です。天壇公園では、空竹(中国ゴマ)を振る人々や、京劇を歌う人々、将棋を指している人々を多く見かけることができます。これらの活動を通じて、地元の人々との交流を楽しむことも一興です。天壇公園は北京の文化を深く理解することができる場所です。

老舎茶館は1988年に建てられ、ここでは曲芸や演劇の素晴らしい演目を楽しむことができます。お茶と共に宮廷の精巧なお菓子が提供され、これらの味わいを楽しむことで、さらに深い文化体験ができます。また、季節ごとの風味豊かな北京の軽食も楽しめます。北京の伝統的な味覚を体験する絶好の機会です。



○ 2日目 Day2

天安門広場→故宮博物院→什刹海→胡同遊

故宮は「紫禁城」とも呼ばれ、世界の五大宮殿の筆頭に数えられます。明清の時代に建てられた皇宮であり、中国で現存する最大かつ最も完全な皇家の古建築群です。一方で、北京の胡同は一般の市民が暮らす場所であり、胡同では下町の暮らしに触れることができます。



○ 3日目 Day3

金絲琺瑯画→頤和園(北京の伝統的な茶文化を体験)
→毬子(羽根蹴り)の手作り体験

金絲琺瑯画の制作体験を通じて、時空を超えた対話を楽しむことができます。

お湯を沸かし、お茶を淹れ、その香りに包まれながら、頤和園が語る物語に耳を傾けてみましょう。



○ 4日目 Day4

八達嶺長城→オリンピック公園→ティーショップ

八達嶺長城は北京市延慶区に位置し、世界遺産・万里の長城の重要な関所である居庸関の前哨であり、明の長城の要害部でもあります。

午後は2008年北京オリンピックの主要な会場の一つであったオリンピック公園を自由に散策します。その後、ティーショップでお茶を楽しんだり、お茶を購入したりすることができます。



○ 5日目 Day5

雍和宮→花茶アイスクリームご賞味(抹茶味とジャスミンティー味)

雍和宮を訪れ、特別な香炉供養体験を楽しんだ後は、花茶風味のアイスクリームを味わってみてください。それぞれのアイスクリームには細かい茶葉の粒が含まれており、お茶の豊かな香りが漂っています。振りかけられ、お茶の香りが満ち溢れます。



魅力ポイント Unique Features

北京ダック
Peking Duck

プレミアムな鴨肉を使用した北京ダックは、丹念な準備を経て完璧に焼き上げられ、艶やかで黄金色の外皮と柔らかな肉質が特徴です。北京ダックを楽しむには、焼きたての薄餅に薄切りのお肉、白髪ねぎ、キュウリを包み、甘い豆醤を付けて食べます。一口ごとに、香りとサクサク感、柔らかさの絶妙な調和を楽しんでください。



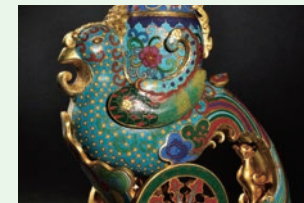
北京のおやつ
Beijing Snacks

北京のおやつには二つの顔があります。一つは、もともと庶民的な屋台の軽食であり、もう一つは、庶民から宮廷へと昇進し、再び庶民の間に戻った軽食です。このような二つの異なる経路が、北京の軽食のユニークな魅力を生み出しています。



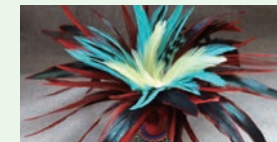
掐絲琺瑯
Cloisonné Enamel

北京の八大伝統工芸の一つとして知られる金絲琺瑯工芸は、元の時代にその起源を辿ります。この芸術形式は、丁銅細工技術と様々な絵画スタイルを織り交ぜており、細密な筆使いや伝統的な縁起の良いモチーフ、タンカ絵画、装飾画、さらに現代の漫画イラストレーションなどが巧みに取り入れられています。それぞれの作品には豊かな象徴主義が宿っています。



毽子(羽根蹴り)の手作り体験
Jianzi (Shuttlecock) Handcrafting Experience

毽子(羽根蹴り)の歴史、文化、工芸について習います。



北京千乘假期国際旅行社有限公司
Beijing Glory International Travel Service Co., Ltd

担当: 程雪
Contact Person: Cheng Xue

☎ 18210162022
✉ chengxue@chinaglorytour.com

信陽の茶路・毛尖の旅路

Xinyang Maojian, from the ancient tea route to modern tea tour

背景 Background

名高い銘茶：信陽毛尖は中国十大銘茶の一つであり、パナマ万博(1915年)で金賞を受賞し、「緑茶の王様」として知られています。

無形文化遺産にも収録された製茶技法：信陽毛尖の製茶技術は、「生鍋」での殺青と「熟鍋」での整形を特徴とし、十以上の工程があります。この製茶技法は、「中国伝統の製茶技法と関連の風習」の一部として、ユネスコの無形文化遺産代表作リストに登録されています。

信陽茶道：西周(紀元前1046年 - 紀元前771年)にその起源を持ち、唐・宋(618年 - 1279年)には煎茶法が、明・清(1368年-1911年)には淹茶法が発展しました。そして現在に至るまで、信陽の茶文化は絶え間なく受け継がれてきました。

良質な茶の源：鷄公山の茶溝は、唐宋時代からの古茶樹が生息する地域であり、「五雲二潭一寨」として知られる八つの有名な茶山があります。これらの茶山は毛尖茶の核心地帯を形成しており、その豊かな自然環境が良質な茶の源となっています。



信陽毛尖茶の産地である「八大茶山」は、茶の植え付けから収穫、製造、そしてお茶の淹れ方まで、深い伝統と技術を受け継いでいます。特に鷄公山の茶溝地域には、唐と宋の時代から続く60本もの古茶樹があります。その中で最大の古茶樹は幹根の周囲が88.8センチメートルあり、高さは4.2メートルに達します。これらの古茶樹は信陽市のお茶の歴史を象徴し、その存在はまさに生きた化石と呼ぶにふさわしいものです。

信陽毛尖茶を中心としたこのコースでは、広さ1万ムーの茶園を訪れ、「百里茶廊」の独特な魅力に触れることができます。この特別な体験を通じて、無形文化遺産である中国茶への理解を深め、国際的な文化交流において重要な役割を果たすことを目指しています。

旅程 Itinerary 旅程の目安:3日(各コースごと) Suggested Duration: 3 days (Each route)

景勝地と無形文化遺産のコース

Scenic Area & Intangible Heritage Route

- 鷄公山風景区
Ki Kungshan Scenic Area
- 二潭(黒龍潭、白龍潭)
Two "Tan" : Heilongtan, Bailongtan
- 一寨(何家寨露營基地)
One "Zhai" : Hejiazhai Camping Resort
- 五雲(雲霧、集雲、連雲、天雲、車雲)
Five "Yun" : Mountains including Yunwu, Jiyun, Lianyun, Tianyun, Cheyun
- 万里の「茶路」河南セクション
Henan Section of the "Tea Road"

没入型茶体験コース

Immersive Tea Experience Route

- 睡仙橋茶体験
Shuixianqiao Tea Culture Tourism Experience
- 何家寨露營基地
Hejiazhai Camping Resort
- 文新茶村
Wen Xin Tea Village
- 茶旅探求学習
Tea Field Trip Tour
- 鷄公山風景区
Ki Kungshan Scenic Area

魅力ポイント Unique Features

万里茶路・河南セクション Henan Section of the "Tea Road"

茶路は湖北省から河南省にかけて唐白河沿いに伸び、古代の道路や橋、茶館などが数多く残されており、豊かな文化遺産を形成しています。これらは独特の魅力を持つ文化遺産のラインを形成しており、特に河南省部分の茶路は、南北の経済文化交流における茶の貿易の重要な拠点として歴史的な価値があります。



鷄公山風景区 Ki Kungshan Scenic Area

鷄公山風景区は、河南省信陽市に位置し、国内外で広く知られる夏のリゾート地です。この地域は河南省と湖北省の境界に位置し、生態的なバリアとしても重要な役割を果たしています。中国で最も有名な夏のリゾート地の一つであり、AAAAA級観光名所および国家級自然保護区に指定されています。鷄公山風景区は、密林や豊富な生物資源を誇り、また農業、林業、教育、医学に関する大学の教育や科学研究のステーションとしても活用されています。



何家寨露營基地 Xinyang Hejiazhai Camping Resort

何家寨キャンピングリゾートは、会議センター、探求学習施設、商業ストリート、インフィニティプール、雲崖古寨、大規模なウォーターパークなど、多様な観光施設を備えています。このリゾートは中原地区最大の豪華な野外テントコミュニティであり、南湾湖景区に隣接し、周囲を山々に囲まれています。近くの茶山の頂上からは信陽市全体を一望できます。



文新茶村 Wen Xin Tea Village

文新茶村は信陽市の瀕河港鎮白龍潭村に位置しており、茶をテーマにしたさまざまな観光体験を提供しています。これには、茶に基づく食事体験、無形文化遺産としての茶摘みや製茶の体験、親子で楽しめるアミューズメント、禅茶リゾート、そして茶文化の探求学習が含まれています。



睡仙橋茶旅体験館 Shuixianqiao Tea themed Resort

睡仙橋茶旅リゾートは、瀕河区の董家河鎮に位置する睡仙橋村にあります。この古村は千年以上の歴史を持ち、伝統的な徽州スタイルの四合院が特徴で、南湾湖を取り囲む美しい風景に溶け込んでいます。このリゾートは、一風変わった茶園兼博物館として機能し、茶文化の普及や手摘み・製茶体験、お茶に関する学びの旅に重心を置いています。



睡仙橋の「ティーツーリズム」業態 Tea Culture Tourism Attractions



五雲二潭一寨 Five "Yun", Two "Tan" and One "Zhai"

車雲山、集雲山、雲霧山、天雲山、連雲山、黒龍潭、白龍潭、何家寨は、信陽毛尖の著名な産地で、「五雲二潭一寨」として知られています。

車雲山は「仰天窩」とも呼ばれ、標高647メートルの山です。茶園は3000ムー以上の広さを誇り、美しい風景で知られています。清の乾隆年間には、申州の拔貢(科挙の一種)であった程悌(ていてい)がこの山に隠棲していました。彼は、山上でしばしば風雲が巻き上がり、車輪のような形状になるのを見て、この山を「車雲山」と名付けました。程悌は詩を詠んで次のように表現しました。

「雲は青山の上であり、雲が来れば青山は白くなる。白雲はただ山にあり、常に山中の客に伴う。」



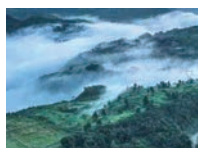
天雲山は董家河鎮西部の塔耳湾村に位置しており、標高が高く霧が多いことで知られています。土壌が肥沃で、茶葉の品質が優れているため、信陽毛尖茶の中でも特に優れた品として知られています。茶園の景観は非常に美しく、一度訪れるとその美しさに心を奪われ、何度でも訪れたい場所です。



連雲山は別名を連界寺山といい、かつて山上に古い寺院が存在しました。この寺院は河南省と湖北省の境界に位置していたため、「連界寺」と名付けられました。その後、山の連なりが美しく、青々とした山々と白い雲が互いに映え合うことから、「連雲山」と呼ばれるようになりました。



集雲山の最高峰である獅子頭は標高736メートルで、山峰がそびえ立ち、常に雲霧が集まることから「集雲山」と名付けられました。集雲山は風景が美しく、魅力的な景色を誇り、「深山の明珠」と称されています。



雲霧山は南で四望山と連なり、その境内は峰が重なり合い、常に雲霧が漂うことから「雲霧山」と名付けられました。現在、茶園の面積は2500ムーあり、最高峰の鷹嘴石は標高800.2メートルで、董家河鎮の境内で最も高い山です。



何家寨は瀕河区で最も古い有名な茶山の一つであり、頂上からは広大な碧い湖面と点在する島々を一望できます。

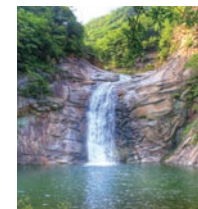


白龍潭峡谷は上下4キロメートルにわたり、数十メートルの滝が流れ落ちています。清代乾隆年間にはすでに信陽古八景の一つに選ばれ、「豫南第一の泉」と称されています。



黒龍潭瀑布は上、中、下の三つの滝で構成されています。明代の文学者何景明はかつて夜にこの場所で酒を楽しみながら、次のように詠みました。

「川は一曲に蛇行し、峻険な崖が万年にわたって開けています。白い石が器を渡し、青い空が月を届けます。龍や鳥が自由に舞い、互いに競いません。誰が仙境の上を知っていますか、この釣り台は天が残したものです。」



贅沢な郷土料理

Local Specialty

天然食材、健康を育む信陽料理 Natural ingredients, healthy cuisine

信陽料理はその長い歴史と独自の調理法で「河南料理の旗手」と称されています。主に「燉(トン)」という煮込み技法を使用し、天然の食材を選び、低温でじっくりと調理することで、深い味わいと地方独特の風味が際立つ料理が作られています。

信陽料理の起源は商の時代にさかのぼり、1980年代に発展を遂げました。歴史的な人口の移動や地域文化の影響を受けて、信陽料理はさまざまな要素を取り入れ、各地の長所を融合させて独自のスタイルを確立しています。また、円房酒喜筵や司馬光家宴、信陽茶宴といった歴史的な会食料理も楽しむことができます。

信陽は「河南省の伝統的な飲食文化名城」、「河南省の茶宴の郷」、「中国の炖菜(煮込み料理)の郷」として広く認知されており、健康を考慮したグルメのランドマーク都市としても評価されています。信陽料理のブランドは全国的に広がりつつあり、その影響力を増しています。



信陽毛尖風味アイスクリーム
Gelato 798
毛尖沖激法

テーマホテル・旅館

Themed Hotel & Resort

プレミアムな茶園、品質と文化の優雅な旅
Tea Resorts for Travelling

茶テーマのレストラン、お茶の収穫と製茶体験、茶関連の無形文化遺産の展示、そして茶をテーマにした民宿を特色とする茶荘園は、信陽特有の宿泊施設であり、訪問者に高品質な茶旅体験を提供します。



孔雀島露营地
Peacock Island Campsite



歸拙園民宿
Guizhuo Tea Guesthouse



雲上枕溪秘境民宿
Yunshang Zhenxi Tea Resort



何家寨露营地
Hejiazhai Camping Resort



文新茶村渡假酒店
Wen Xin Resort

修学体験

Field Trip Activities

信陽毛尖の無形文化遺産は豊富であり、茶園では多彩な「茶」テーマの修学旅行プログラムや、修学旅行のためのキャンプ地(基地)、精選された探求学習プランなどを提供しています。



「茶農家になる——一日茶園体験」
テーマの修学旅行
"One-day Tea Garden Visit—Being
a Tea Farmer" Themed Study Tour

北京大品管理諮詢有限公司
Beijing Dapin Management Consulting Co., Ltd

担当: 葛婕
Contact Person: Ge Jie

☎ 18610957305
✉ zoey.ge@pinchain.com

嶺南の茶味—お茶と一体不離の地を探る旅

"Tea of Southern China - Exploring a Place Inseparable from Tea"

背景 Background

広東の茶文化は明・清時代に形成され、特に明代以降、嶺南地域で栄えました。その中でも、広州の「茶市」や潮州の「工夫茶」は広東茶文化の二大特徴として知られています。

潮汕地区は飲茶文化が最も早く栄えた地域の一つで、潮汕工夫茶(潮汕の茶道)は中国に現存する茶道の中で最も精緻で洗練されたものとされ、「中国茶道の生きた化石」と称されています。この工夫茶は、特に細やかな淹れ方とお茶の品位にこだわり、独自の茶道を形成しています。

広府(広州を含む地域)の早茶文化は広東地方特有の民間飲食習慣で、広府の人々は「暇があればお茶を飲む」という習慣を持ち、朝の時間帯にお茶を楽しむ習慣が広く行われています。この文化は、単にお茶を楽しむだけでなく、社交や娯楽の一環としても重要な役割を果たしています。

広東の特色茶宴は美食の祭典であり、広東茶文化の多様性と豊かさを象徴しています。この茶宴は味覚の饗宴だけでなく感覚的な体験をもたらします。お茶を淹れる複雑な技術と広東料理の洗練された味わいが融合し、美食の領域を超えた特別な体験を提供します。



潮安県の鳳凰鎮 Fenghuang Town in Chao'an County

ここは単叢茶の代表的な産地です。

鳳凰単叢茶 Fenghuang Dancong tea

独特な自然の花の香りとまろやかで爽やかな味わいで有名です。

英徳紅茶 Yingde black tea

英徳茶区の主要な銘茶の一つです。

紅旗茶廠 Hongqi Tea Factory

英徳紅茶の歴史と製造過程を学び、その独特な茶湯を味わうことができます。

旅程 Itinerary

目安:五日 Suggested Duration: 5 days

○ 1日目 Day1

潮州

載陽茶館:潮州のローカルな生活を体験してみましょう。



○ 2日目 Day2

潮州

- ・鳳凰山:単叢茶の産地
- ・単叢の里:烏東村



○ 3日目 Day3

潮州—広州

- ・広濟橋 牌坊街



○ 4日目 Day4

広州—英徳

- ・紅旗茶廠:英徳紅茶のゆりかご
- ・茶畑で茶摘みと手作りの茶葉炒め体験をします
- ・特色の茶宴



○ 5日目 Day5

広州

芳村南方茶葉市場:中国最大の茶の専門卸売市場かつ集散地



嶺南の茶味
Tea of Southern China

ようこそ、お茶文化の旅へ
Welcome to embark on your journey of tea culture

広州広之旅国際旅行社股份有限公司

GZL International Travel Service Ltd

担当: 方方

Contact Person: Frank Fang

☎ 13802902152 / 020-86338656

✉ frankfang@gzl.com.cn

シルクロード上の「黒金」ー陝西官茶・涇陽茯茶

The Black Gold on the Silk Road Jingyang "Fu Tea"

背景 Background

古来より、嶺北(秦嶺山脈の北側)では茶が産出されていませんが、関中の中心部に位置する咸陽市涇陽県には、千年以上の茶製造の歴史があります。この地で作られた茶は、遊牧民族にとって欠かさない生命の茶であり、茯茶(ふうちゃ)と呼ばれています。

茯茶は湖南省の高品質な黒毛茶(荒茶)を原料とし、涇陽で手作りで圧縮されるため、「湖茶」や「涇陽磚(涇陽レンガ)」とも呼ばれています。また、伏天(夏の土用の頃)に製造されるため、「伏茶(ふうちゃ)」とも称されます。

茯茶はその薬効が土茯苓に似ているため、「茶」や「福磚」という美称で呼ばれています。涇渭の特有の水質と気候環境のおかげで、茯茶は発酵と「発花」工藝を経て有益な菌である冠突散囊菌(金花とも呼ばれる)を生成します。茯茶はその「赤く濃く、まろやかで香り高い」特徴により、世界中で愛飲されています。

西安は中国の西北部に位置し、悠久の歴史と豊かな文化を持つ古都であり、古代シルクロードの起点であり、中華民族のゆりかごの一つでもあります。西安には、目を見張るような風景名勝や人文地理的な特徴が数多く存在しています。

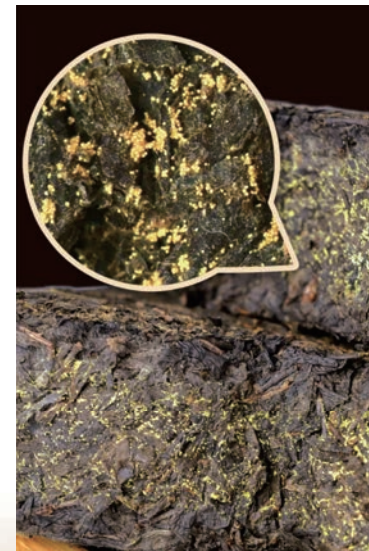
西安は中国の歴史と文化の名城であり、十三の王朝の古都であるため、古跡が多く、「天然の歴史博物館」と称されています。

茯茶について

"Fu" tea introduction

陝西茯茶は陝西省咸陽市涇陽県に由来し、600年以上の歴史があります。茯茶は約1368年(明朝初期)に登場し、黒毛茶を原料として手作業で圧縮して作られることから、「涇陽磚」と呼ばれます。また、夏の土用の頃に加工されるため、「伏茶」とも称されます。

茯茶は許可を得て製造されていたことから、清代前期には生産された茯茶の30%から50%が税金として蘭州府に納められ、官府によって販売されたため「官茶」や「府茶」とも呼ばれました。残りの磚茶は茶商が政府の指示に従って指定された販売地域で販売していたことから「附茶」とも称されました。



茶馬古道上の「黒い黄金」

“Black Gold” Along the Ancient Tea Horse Road

公元1368年、すなわち明の洪武元年に、陝西省涇陽で茯磚茶の製造が始まりました。このお茶は、遊牧民族と馬を交換する重要な物資の一つでした。中国古代において、戦馬は非常に重要な戦略資源とされ、最良の馬の飼育地は草原地帯でした。そこでは食事が肉中心で野菜が不足していたため、磚茶に含まれる微量元素が栄養を補い、消化を助ける役割を果たしていました。

当時の西北部の遊牧民族の間では、特に涇陽の金花黒磚茶が貴重とされ、「シルクロードの黒い黄金」とも呼ばれていました。茶馬古道では、茶と馬の交換に利用され、涇陽茯磚茶を使って関中地方にとって非常に貴重な戦馬資源を得ていたのです。



旅程 Itinerary

目安:三日 Suggested Duration: 3 days

三千年以上にわたり、多くの人々が西安を出発し、夢を追い続けてきました。また、夢を実現するために旅立ち、多くの人々が西安に到達しました。もしまだ西安を訪れたことがないなら、ぜひ一度お越しください。西安はあなたを歓迎します!

○ 1日目 Day1

シルクロードの東端に位置する中国の古都の一つ、西安に到着します。西安のシンボルである大雁塔を見学します。その後、ホテルにチェックインします。



○ 2日目 Day2

午前中は車で臨潼区へ向かい、兵馬俑博物館(電動カートとイヤホンガイド付き)を見学します。2200年以上にわたり、兵馬俑は中国の初代皇帝を守り続けてきました。

午後には市内に戻り、古城壁を見学し、城壁の上でサイクリングを楽しみます。町の異なる景色や歴史あるブランドショップ、そして賑やかなバー通りなどを見学します。さらに、グルメ通りを探索し、西安の地元料理を堪能します。



○ 3日目 Day3

茯茶小鎮へ足を運び、中国茯茶文化博物館を見学します。茯茶の文化と歴史について学び、茯茶の手作り体験に参加し、自分で茯茶を作ります。最後に、出来上がった茯茶を試飲します。



西安中国国際旅行社集团有限责任公司

Xi'an China International Travel Service Group Co., Ltd

担当: 葛曉亮

☎ 18602927706

Contact Person: Ge Xiaoliang

✉ 392731626@qq.com

人間の天堂 ～ お茶でめぐり会う杭州

“Heaven on Earth” Tea Party in Hangzhou

背景 Background

杭州は浙江省の省都で、浙江省の北西部に位置します。杭州はシルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロードの交点にあり、さらに「インターネットシルクロード」の戦略的ハブ都市でもあります。2016年の杭州G20サミットの際、習近平総書記は杭州に対して「歴史文化名城」「革新と活力の都市」「エコ文明の都」といった評価を与えました。



春 In spring

花の下で逢瀬を重ね、静寂な寺で祈りを捧げます



夏 In summer

夕風に吹かれながら酒を傾け、灯りに包まれた夜の散策を楽しみます



秋 In autumn

雨の如く散りゆく桂の花びらを浴びながら、山間の風景を悠然と歩みます



冬 In winter

お漬物と寒梅と共に味わい、雅やかな趣と素朴な風情を堪能します

中国茶の都 China Tea Capital

杭州は「中国茶の都」として知られています。龍井茶園では、煙のような朝もやの中で茶摘みが行われ、径山茶の茶宴では、煎じたお茶を注ぎ分ける儀式が行われます。千年にわたり、ここでのお茶の風景や香り、お茶の学び、そして悠久の茶業は杭州市民の生活に深く溶け込み、影のように寄り添っています。

2022年11月、「中国伝統の製茶技法と関連の風習」が「人類の無形文化遺産代表作リスト」に登録されました。杭州の西湖龍井茶や径山茶宴は、その重要な構成要素となっています。

龍井茶の概要

Overview of Longjing Tea

龍井茶は浙江省杭州市の西湖周辺で生産される著名な緑茶です。その特徴は「色が緑で、香りが豊か、味が甘く、形が美しい」という四つの絶品にあり、世界的に有名で「お茶の王様」と称されています。

西湖龍井の代表的な産地には「獅、龍、雲、虎、梅」があり、これらの茶園は西湖周辺の肥沃な土壌に恵まれています。三方を山に囲まれているため、北からの寒流を防ぎ、南からの暖流を取り入れることができます。また、優れた水源も相まって、自然条件は非常に恵まれています。

龍井茶の歴史

History of Longjing Tea

西湖地域での製茶の歴史は唐の時代(618-907年)に遡ることができます。この地域のお茶に関する記録は1500年以上にわたって残されています。明代(1368-1644年)に、龍井茶は中国のトップティーの一つに数えられました。さらに、清代(1644-1911年)には特に高く評価され、乾隆帝の認可を受けたことがその評価を一層高める要因となります。

歴史的記録によれば、乾隆帝は61年の治世の間に六回も江南を巡幸し、そのうち四回は龍井茶の視察を行ったとされています。その期間中、彼は数多くの茶詩を詠み、獅峰山の胡公廟前にある18本の龍井茶の樹を「御茶」として決めました。これにより龍井茶は献上品となり、国を代表する贈り物としても広く知られるようになりました。



旅程 Itinerary

目安: 四日 Suggested Duration: 4 days

○ 1日目 Day 1

杭州に到着 → 西湖を散策 → 西湖で舟遊び → 夜には『最も思い出深い杭州』ショーを観賞



○ 2日目 Day 2

飛来峰 → 茶葉博物館 → 茶文化体験

茶園の風景を楽しみ、龍井茶の摘み取り体験を行い、炒茶技術を学び、龍井茶の淹れ方を習得し、西湖龍井を試飲し、茶点を味わい、農家料理を堪能します



○ 3日目 Day 3

京杭大運河を散策→運河博物館を訪問→無形文化遺産の手工芸技術を体験→胡雪岩故居を見学→河坊街を散策→胡慶余堂で中医薬文化の独特な魅力に触れます

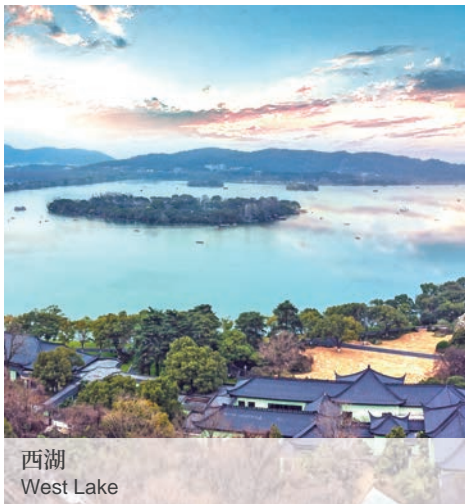


○ 4日目 Day 4

帰路へ

スポット

Attractions



西湖
West Lake



靈隱寺
Linyin Temple



京杭大運河・杭州セクション
Grand Canal Beijing – Hangzhou



飛來峰
Peak Flying From Afar

飛來峰の崖壁には、五代(907-960年)から宋(960-1279年)・元(1271-1368年)にかけての340以上の仏教石窟彫刻があり、これらは晩唐以降の石窟芸術の傑作とされています。



中国茶葉博物館
China Tea Museum

これは囲いのない江南園林式の博物館であり、六つの展示ホールでは古くて輝かしい中国茶文化を生き生きと展示しています。ここでは、お茶に関するすべてを学び、茶芸のパフォーマンスを觀賞し、お茶を楽しむことができます。



清河坊
Qinghefang Historic Block

清河坊古街は、杭州の呉山北側の麓にある鶴坊街区に位置しており、美しい西湖から数百メートルしか離れていません。この街道は13ヘクタールの面積を占め、古城で唯一保存状態の良い部分です。都市の悠久の歴史を映し出す場所として、杭州の歴史文化の特徴を最もよく表現しています。

杭州梵客国際旅行社有限公司

Hangzhou Fanke international travel LTD

担当:江佩珍

☎ 13185016822

Contact Person: Jiang Peizhen

✉ jiangpeizhen@fanketours.com

茶のハーモニー・滇蔵茶馬古道の旅

Harmony between Tea and Heaven

Following the Footprints of Ancient Tea and Horse Caravan

背景 Background

中国西南部の深い山間の峡谷には、歴史が古く、曲がりくねった商業の通路—茶馬古道が隠れています。

この道は6世紀の茶馬交易に起源を持ち、プーアル茶の主産地である易武から始まり、大理、麗江、シャングリラを経て、シッキム、ブータン、インドに至り、西アジア、北アフリカ、ヨーロッパへと延びていきます。

旅程 Itinerary

目安: 十七日 Suggested Duration: 17 days

○ 1日目 Day 1

昆明に到着後、フライトのスケジュールに応じて市内観光を行います。

○ 2日目 Day 2

昆明から出発し、昆明—磨憨高速道を走って、プーアル茶の重要な産地と集散地である普洱市へ向かいます。途中、茶馬古道の重要な町である碧溪古鎮を訪れます。明代の城楼、飛檐流丹の(屋根の端が飛び出し、赤い装飾が施された)魁閣、質素で荘重な「庾家故居」が、古鎮の輝かしい過去へと来客を導き、時がここで止まったかのように感じさせます。普洱市に到着後は銀生プーアル茶庄園を見学し、茶山の頂上から茶園の間の小道をゆっくりと下ります。夕日に照らされる茶樹の若芽は鮮やかに輝き、麓の茶坊からは心地よい茶の香りが漂ってきます。



○ 3日目 Day 3

普洱

午前:「那柯里」、茶馬古道上でまるで一粒の宝石のような場所を訪問します。普洱市に到着したら、那柯里は欠かせない立ち寄り地です。かつて南のプーアル茶の産地と北の京城を往来する商人たちは、必ずここで一晩宿泊していました。町にある「榮發馬店」には、今も馬の鈴の音や御者の掛け声が残っているかのようです。



午後:云南省の著名な茶山の一つである「困鹿山古茶園」を見学します。困鹿山は無量山の支脈に位置し、1万ムー以上の半栽培型千年古茶樹の群落を持ち、「茶の博物館」と称されています。清代に皇家の茶園であった説もあります。

○ 4日目 Day 4

普洱—景洪

午前:中華普洱茶博覧苑を散策し、広大な万畝(約6700ヘクタール)のエコ茶園の中でプーアルに関する知識を立体的に探求し、理解を深めます。



午後:熱帯雨林を抜ける美しい公路を通り、西双版纳州の州府である景洪に向かいます。途中、大渡崗の万畝エコ台地茶園を見学し、その後、瀾滄江沿いの東南アジア最大の夜市である「告莊西双景メコン川夜市」を訪れます。煌びやかな灯りと独特の辺境民族の風情に包まれ、まるで異国の地に迷い込んだかのような魅力を感じるでしょう。

○ 5日目 Day 5

景洪—勐侖—易武—景洪

車で勐侖に向かい、中国最大かつ最も多様な西双版纳熱帯植物園を見学します。植物の王国に足を踏み入れ、多彩な植物の知識に浸り、植物界の奇妙な話や逸話に耳を傾けます。昼食後、易武に向かい、茶馬古道の始まりである易武古鎮を訪れます。「班章山のプーアル茶は王様であり、易武山のプーアル茶は女王様である」と称されるこの地で、何世紀にもわたって馬のひづめで磨かれた青石板や「瑞貢天朝」と題した堂々たる扁額が、「貢茶之郷(献上茶の郷)」の栄光の過去と盛んな今を物語っています。



○ 6日目 Day 6

景洪—南糯山—勐海

朝の優しい日光に包まれながら、傣王の御花園である曼聽公園を散策し、南伝仏教の第一寺である西双版纳総仏寺を訪問します。ここでは、異なる仏教の雰囲気を感じ、小乗仏教の知識を学びます。



その後、南糯山に向かい、古茶園を見学します。まず、ハニ族の古い集落から出発し、古茶林の小道をゆっくりと歩きながら、泉の音や茶農たちの歌声を聴きます。王茶樹や女王茶樹の壮大な姿を眺め、山の真ん中ぐらにある半坡老寨に到着後、車で勐海へ向かいます。

○ 7日目 Day 7

勐海—布朗山—勐海

朝のほのかな炊煙に包まれながら、「曼召傣寨」という村を訪問し、タイ族の千年にわたる古式製紙法を見学します。その後、布朗古茶山を巡り、「班章茶王」とプーラン族の独特な風情を堪能します。



○ 8日目 Day 8

勐海—景邁山

214号国道を沿って、景色の美しい道を進み景邁山へ向かいます。途中、西双版纳小乗仏教の三大古建築の一つである景真八角亭を見学します。その後、景邁山に到着し、「神々によって山中に遺された宝石」と称される糯崗傣族古寨と翁基布朗古寨を訪問します。



タイ語で「糯崗」とは「鹿が水を飲む場所」を意味し、古い木造の家々が村の小川の両岸に並んで建っています。村の人々は全てお茶を作り、すべての家庭でお茶を楽しんでいます。プーラン語で「翁基」とは「古い」を意味し、プーラン族の先祖たちは現在の翁基の地に到達し、占いを行ってから風水の良い場所であると感じ、ここで茶園を開きました。現在に至るまで約千年の歴史があり、村人たちはプーラン族の伝統を守り、男性は子供の世話をし、女性は茶の製造に従事しています。

○ 9日目 Day 9

景邁山—孟連—瀾滄

旭光の中、世界遺産に登録されている景邁山の大坪掌千年古茶園を散策し、「世界的に珍しい大規模栽培の古茶の博物館」としての価値を誇る場所を見学します。石畳の古道を下りながら、景邁傣寨の風情と古い仏教寺院を見学します。



その後、「中国のウィーン音楽の町」と称される老達保拉祜古村に向かい、「足があれば踊り、口があれば歌い、手があれば楽器を弾く」といったラフ族の素晴らしい才能を体験します。さらに、辺境の町孟連に移動し、タイ族の古都である娜允古鎮を見学します。保存状態が最も良い土司衙門の一つである宣撫司署を訪れ、かつての傣王土司の官邸兼仕事場の様子を見学します。その後は、瀾滄へ戻ります。

○ 10日目 Day 10

瀾滄—滄源

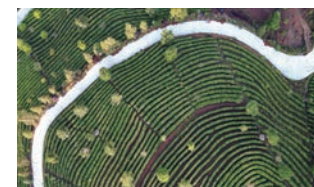
小黑江に沿って滄源に向かいます。まず、中国で最も古い岩絵群である滄源崖画を鑑賞します。海拔2000メートルの絶壁に描かれた素朴で力強い絵画が、遠い昔の先民たちの過酷な生活を語りかけてきます。その後、翁丁ワ族の原始部落に足を踏み入れ、かつての人頭祭祀の謎に満ちたワ族部落の神秘に迫ります。



○ 11日目 Day 11

滄源—臨滄

臨滄に向かいます。途中、プーアル茶のもう一つの主要生産地である双江県勐庫鎮の冰島村を訪れます。冰島大葉種茶はプーアル茶の一種で、明代に当時の土司が導入して栽培したと伝えられています。その茶味は甘みが長く持続し、濃厚で繊細な甘さが特徴です。



○ 12日目 Day 12

臨滄—巍山

さらに北上し、中国十三の道教名山の一つ、古南詔国の発祥地である巍宝山を訪れます。松のざわめきを聞きながら階段を上がると、荘厳で古朴な道観や古刹が目の前に現れます。土主廟、文昌宮、青霞宮などの建物があります。悠揚たる鐘の音や経文を唱える声が俗世の思いを洗い流し、心を静かにしてくれます。



○ 13日目 Day 13

巍山—大理

静かで古朴な南詔古都巍山古城を散策します。明清時代の古宅、屋根の下の鳥籠、朝の光の中を悠々と歩く人々が、私たちが南詔古国の時代に引き戻してくれるかのようです。拱辰門や星拱樓が、この茶馬古道の重要な町の威厳と繁栄の過去を物語って



います。車で大理へ向かう途中、東蓮花回族古村を訪れます。ここでは、清代の中国伝統建築様式とアラビア・イスラム美学が融合した清真寺(モスク)、荘厳で古朴な馬家大院、小規模ながら豊かな内容を持つ馬幫(キャラバン隊)博物館が、かつての「茶馬古道上の小上海」と称された繁栄ぶりと馬幫人の暮らしぶりを生き生きと再現しています。大理到着後、三塔と大理古城を見学します。

大理はかつて滇藏茶馬古道上で最大の緊圧茶の加工中心であり、茶の集散地でした。唐宋時代には、南詔及び大理国の中心地でもありました。大理古城の城壁は明代の遺跡であり、古城の南門と北門は今でも良好な状態で保存されています。古城の石畳の道を歩くと、南城門、カトリック教会堂、五華楼、紅龍井、文廟、武廟、洋人街などの耳慣れた観光スポットが次々と目に入ります。

三塔は唐宋時代に建設され、大理のシンボルとなっています。1000年以上にわたり、「永遠に山川を守る」という意味を持ち、大理を護ってきました。崇聖寺は大理地区最大の仏教寺院で九層の院落から構成され、蒼山の麓に沿って段々と上に向かって広がっています。蒼山を背景に陽光に照らされて、その輝きは壮麗です。

○ 14日目 Day 14

大理—諾鄧—沙溪

午前:車で諾鄧に向かいます。この古村は千年以上にわたり塩業で有名で、多くの明清時代の古民居や道教古建築群が今も残っています。村は山の斜面に築かれ、山の麓には保存状態の良い古い塩井と明代の五井塩課提學司衙門の旧跡があります。村中の石畳の小道を上ると、左右に古民居が点在し、山頂の玉皇閣からは村全体の風景が一望できます。



午後:沘江に沿って上流へと向かい、蘭坪を経由して沙溪に到着します。小さな沘江には「古橋梁博物館」とも称されるほど多くの橋がかかっており、彩鳳橋、通京橋、藤橋などが見られます。

○ 15日目 Day 15

沙溪—劍川—虎跳峽—麗江

早朝に沙溪古鎮を訪れます。沙溪は茶馬古道上の重要な宿場と集市で、世界建築基金会(WMF)によって101の世界危機建築保護名簿に登録されています。寺登街は沙溪の魂と核心であり、寺院、古い劇場、商店、馬宿、広々とした石畳の街道、百年の古木、古い小路、寨門(砦の門)が一体となった、複合的機能を備えた千年の古集市です。その後、石宝山石窟を訪れます。これは雲南省に現存する最大で保存状態が良い石窟群で、16の石窟に139体の浮彫り像があり、南詔、大理国時代の芸術の宝庫で、約千年の歴史があります。

午後は劍川古城を訪れます。劍川は茶馬古道の重鎮として元代に築かれた城であり、現在も多くの明清時代の古建築が残っています。昭忠祠、景風閣、文廟、北岳廟などがあります。劍川は中国の木彫りの故郷としても有名で、劍川の木彫りと石彫りは雲南中部の双璧と称されています。

その後、虎跳峽を訪れます。虎跳峽は長江上流の金沙江に位置し、世界で最も険しい峡谷の一つです。兩岸には標高5500メートルを超える哈巴(ハバ)雪山と玉龍雪山がそびえ、川面との落差は3500メートル以上あります。幅約30メートルの川の中には巨石が横たわっており、伝説によれば、この地点で猛虎が川を飛び越え、獵師の追跡を逃れたと言われています。石階を下りて川辺に到達すると、激流が巨石にぶつかる様子が圧倒的な迫力で迫ってきます。



見学終了後、麗江へ向かいます。

○ 16日目 Day 16

麗江

午前中は麗江古城を徒歩で見学します。麗江古城はユネスコ世界文化遺産であり、「高原の江南」として知られています。ナシ族の人々は、その知恵と工夫で古城に泉水を引き入れ、家ごとに柳が垂れ、小さな橋がかかる江南の風景を作り上げました。麗江古城はナシ族の伝統的な民居の建築様式を完璧に保存しています。忠義市場は麗江古城内で最大の農産物市場であり、毎日多くの人々がここで日常の食料品を購入しています。



黒龍潭は玉龍雪山を鑑賞するのに最適な場所で、遠くの雪山の姿が湖に映り、近くには美しい亭台楼阁があります。地下水が黒龍潭に集まり、それが人工の水路を通して麗江古城に引き込まれ、この高原の小さな都市を潤しています。黒龍潭の隣には東巴博物館があります。東巴(トンパ)はナシ族の伝統的な宗教と象形文字の名称で、トンパ象形文字は現在でも使われており、人類初期の文字の様式を示す「文字の生きた化石」とも称されています。

午後は麗江周辺のナシ族の村を訪れます。白沙はかつて麗江木氏土司の統治の中心であり、現存する大宝積宮には明代に描かれた貴重な壁画があります。今日の白沙は閑静な町で、時がゆっくりと流れています。玉湖村は古くは「雪嵩」と呼ばれ、玉龍雪山の麓に位置するナシ族の小さな村です。村の建物はすべて現地の岩塊で建てられています。1922年から1949年にかけて、オーストリア系のアメリカ人植物学者で探検家のジョセフ・ロックがここに長く滞在していました。

○ 17日目 Day 17

高速列車または飛行機で昆明へ戻り、次の目的地または帰路に向かいます。

雲南之路国際旅行社有限公司
Yunnan Road Travel Company Limited

担当: 王建坤 王国洪

Contact Person: Wang Jiankun Wang Guohong

☎ 13808709852

✉ wangjiankun@yunnanroad.com

茶韻・四川

Tea and Sichuan

四川の一杯がもたらす心地よいひと時

A cup of Sichuan tea · Enjoy a leisurely life

背景 Background

唐代以降、現地の需要に応じて、中国の西南および西北地域では、茶と馬を主要な取引品とし、キャラバン隊を主要な輸送手段とする商品貿易の通路が形成されました。この貿易通路は、中国西南民族の経済文化交流の回廊として機能しました。茶馬古道は、川蔵道、滇蔵道、青藏道（甘青道）の三つの主要な道路を中心に、多くの支線や分岐路を含む巨大な交通網を構成しています。この通路は、陝西、甘肅、貴州、四川、雲南、青海、西藏の各地域にまたがり、南アジア、西アジア、中アジア、東南アジアの各国にも広がっています。



茶馬古道路線図 Map of the ancient Tea Horse Road

四川省は中国の主要な茶産地の一つであり、その独特の地理的環境と気候条件により、多様な高品質のお茶の品種が育てられています。四川産のお茶には、緑茶、紅茶、黄茶、花茶などがあり、その中でも緑茶と紅茶が特に有名です。以下に、四川の主要な茶葉品種についての詳細を紹介します。

峨眉竹葉青：峨眉山中で生産され、その平らで滑らかな形と鮮やかな緑色で知られています。

蒙頂甘露：蒙頂山を産地とする四川で最も古い銘茶の一つ。繊細で淡い緑色の外観と爽やかな香りが特徴です。

川紅工夫：宜賓などで生産される中国の有名な紅茶品種の一つです。茶葉がしっかりしていて、金色の産毛が目立ち、濃厚な味わいで知られています。

文君緑茶：邛崃県で生産され、明るい緑色で艶やかな外観と、心地よい新鮮な香りが特徴です。

雅安藏茶：黒茶類に属し、紅茶の祖先とされるこの茶は、独特の発酵過程と高いコレクション価値で重視されています。



峨眉竹葉青
Emei bamboo leaf green tea



蒙頂甘露
Mengding green tea



川紅工夫
Sichuan Gongfu black tea



文君緑茶
Wenjun green tea



雅安藏茶
Ya'an Tibetan tea



旅程 Itinerary

目安:六日 Suggested Duration: 6 days

○ 1日目 Day 1

成都到着後、空港で出迎えます。

車で人民公園内にある鶴鳴茶舎へ向かい、成都の人々が愛飲する蓋碗茶を楽しみながら休息します。その後、清の時代から残る古い街並み、青い瓦屋根の四合院が並ぶ寛窄巷子を見学します。

夕食には、本場の四川火鍋を味わい、四川火鍋の奥深い魅力を堪能し、四川の風情を感じます。

食事後、ホテルに戻ります。



○ 2日目 Day 2

朝、成都を出発し、雅安の蒙頂山へ向かいます。

無形文化遺産の伝承者と共に、中国茶の歴史を学びます。茶摘みの喜びを自ら体験し、手作りの製茶技術を習得してから、お茶の試飲を行います。



○ 3日目 Day 3

朝、雅安を出発し、車で樂山夾江天福茶園へ向かいます。

茶博物館を見学し、茶道のパフォーマンスを鑑賞します。見学後、樂山の烏尤寺の棧橋に向かい、遊覧船に乗って三江を巡りながら樂山大仏を間近で見学し、その静けさと平和を感じます。

夕食は「四川の味は樂山に」と言われるほど評判の高い樂山料理を楽しみ、さまざまなグルメを堪能します。



○ 4日目 Day 4

朝、峨眉山の麓にある第一山亭へ向かい、太極拳または峨眉武術を体験します。

その後、峨眉山の金頂に登り、天から降り注ぐ神光のような仏光を見学します。日光に照らされる仏光は、峨眉山にさらなる神秘と荘厳さを与え、敬虔な気持ちを呼び起こします。



下山後、峨眉雪芽の生産基地を見学し、峨眉山で生産される高品質な緑茶の製造過程を学びます。見学後、車で成都に戻ります。

○ 5日目 Day 5

朝、成都のジャイアントパンダ繁殖研究基地へ向かい、愛らしくて丸々としたジャイアントパンダを見学します。ここでは、パンダたちの自然な生活や繁殖の様子を観察することができます。

ジャイアントパンダ繁殖研究基地を離れた後は「長江文明の源」と称される三星堆へ向かいます。三星堆では大きな青銅仮面や奇妙な青銅神樹、美しい玉器などが出土しており、原始の神秘的な雰囲気に包まれています。古代の蜀の人々の豊かな精神世界を垣間見ることができる貴重な遺跡です。



夕食後、四川の無形文化財である変面、吐火、茶芸のパフォーマンスを観賞します。これらの伝統芸能は四川の文化を色濃く反映しており、変面の巧妙な面を変える芸や、吐火(火を吹く)のパフォーマンス、優雅な茶芸の演技を通じて、四川の伝統的な芸術を深く楽しむことができます。

○ 6日目 Day 6

帰路へ



成都簡悦国際旅行社有限公司

Chengdu Delight Tour&Events Limited company

担当: 羅婷

☎ 13194969420

Contact Person: Tina Luo

✉ info@delightour.cn

海上シルクロードの茶源・福建安溪鉄観音を探る旅

The Origin of Tea on the Maritime Silk Road
Exploring Tieguanyin Tea in Anxi County, Fujian Province

背景 Background

安溪：清明の踏青、シェ族の風情、お茶の里の暮らし

安溪の茶園を訪れ、鳥のさえずりの中で川辺の日の出や黄昏を眺め、茶山に囲まれた穏やかな風に吹かれながら春の最初の一杯のお茶を味わい、輝く春の風景に浸ります。中国茶の都・安溪に足を踏み入れ、シェ族村の魅力を探り、茶の里の美しさを楽しみましょう。



○ 1日目 Day 1

○ 午前：廈門—安溪

まずは、安溪県のもう一つの支柱産業である「籐鉄工芸品」を見学できる聚豊家居文化芸術館を訪れます。この展示館は、改革開放以来、籐鉄工芸が「竹編み—籐編み—籐鉄工芸—インテリア工芸」という革新的な変遷を辿ってきた過程を展示しています。様々な竹編み、籐編み、竹籐編みを組み合わせた籐鉄工芸品や、木製家具製品は多様なデザインと創意工夫に満ちており、テクノロジーの革新と伝統工芸の完璧な結合とも言えます。

竹籐編み鉄工芸品：竹や籐を材料に編む際、縦の線を「経」、横の線を「緯」と呼び、互いに交差して編むことで、多様な編み模様が生まれ、様々な芸術的な工芸品が形成されます。これに基づいて作られた籐と鉄を取り合わせた製品は、工芸性と実用性を兼ね備えており、製品は東南アジアやヨーロッパに広く輸出されています。



○ 午後:安溪

善壇シエ族の村へ向かいます。

善壇村は少数民族のシエ族の集落で、エコロジカルな環境が美しく、深い文化的背景を持つ省級の観光村です。シエ族の集落、二世祖祠、易安居、井泉居、瑞興居などの連なった古民家は、古建築の特色を保っています。その中でも善壇媽祖廟は、中国文化・観光部によって「中国媽祖文化重点保護単位」とされています。媽祖信仰、シエ族文化、漢族文化が融合し、ユニークな郷土文化を形成しています。毎年農曆三月三日にシエ族文化祭が開催され、独特のシエ族の衣装、料理、文字が多くの観光客を惹きつけ、伝統的なシエ族の生活を体験できます。



○ 2日目 Day 2

午前:安溪

安溪鉄観音グループを見学します。ここは福建省の観光工場で、前身は1952年に創設された国営安溪茶廠です。工場内には、伝統的な茶生産作業場、自主開発の製茶機械、古茶の倉庫、焙煎炉などの工業遺産が保存されています。穀雨から立夏までの時期は鉄観音の春茶が摘まれる時期で、工場全体に茶の香りが漂います。鉄観音の製作工芸を体験し、独自の茶葉の焙煎や貯蔵技術を観察できる、またとない機会です。



○ 午後:安溪—廈門

雲嶺茶園へ向かいます。

雲嶺茶園は、安溪で最も古い国営茶場をリニューアルして建設されたもので、桜が咲く茶園の美しい風景が広がる天然の酸素バーでもあります。ここは会議、レジャー、休暇を楽しめる複合的なリゾート地であり、茶の香りを満喫できます。穀雨から立夏の時期にかけて春茶が摘み取られ、茶園での茶摘みや茶の製作を体験し、茶文化に浸るのに最適な場所です。



廈門建發国旅集団
C&D Global Tourism Group

担当:葉海国
Contact Person: Jasen Ye

☎ 15859280537
✉ china@jfits.com

茶和天下

「茶のハーモニー」厳選ツアーコース

Tea for Harmony

Recommended Tea-themed Tours





茶のハーモニー
厳選ツアーコース
TEA FOR HARMONY
RECOMMENDED TEA-THEMED TOURS



中国駐大阪観光代表処



中国駐東京観光代表処